

始

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 20 3 4 5

哲學概論



11
767

11
767

昭和二年度東大講義

哲學概論

桑木博士講述



論 概 學 哲

完

義 講 大 東 二 年 度 和 昭 日



述 講 士 博 木 桑

14-767

哲學概論目次

第一節	哲學 / 概念 2
第二節	哲學卜似似上学 22

本論

第一章	智識哲學 / 概念 50
第一節	似似上学卜知識哲學 50
第二節	論理學 62
第三節	認識論 70
第二章	智識 / 分析 80
第一節	知識起源 / 問題 80
第二節	起源問題 / 歪史 89
第三節	經驗論對理性論 91
第三章	智識 / 本質 103
第一節	本質 / 問題 103

(目次終り)



哲學概論

桑木博士述

序 説

智識哲學ハ哲學ノ一部ニシテ又其ノ基礎ナリ、今
 我々ハ之ノ哲學ヲ主題トシテ之ノ概論ヲ説カントス
 而シテ智識哲學タルモノハ先ツ主トシテ古来シバシ
 ハ哲學ト同一視サレ居リシ形似上學ニ對スルモノト
 シテ現ハレシモ 通常論理学 並ニ 認識學 等ヲ總稱セシ
 トコロノモノナリ、或ハ其ノ内ノ一ツヲ以テ唱ヘ居
 リシモノナリ、之ノ學ハ哲學ノ一部ナル故ニテ説ク
 ニ當リテハ哲學ノ一般意味ヲ論シ其ノ内ニ於テモハ
 如何ナル地位ヲ占ムルモノナルカヲ等々進メテ形似
 上學ト如何ナル關係ニアルカヲ示スヘシ、之ヲ序説
 トシテ説クアリ、

第一節 哲学、概念

A. 学トシテノ哲学

哲学トイフ言葉ハ其意ニシテ乱用誤解ナトヲ免カ
 レス、先ツ明カナラシムルコトハ我々ノ哲学ハ学
 トシテノ哲学ト云フ物ニ限ラル、学的哲学ヲ使用
 スル所以ハ非学的哲学ヲ豫想カレ居ル事實存スル
 為ナリ、或ハ先学的哲学ト云フ如キ言葉ハ *Richert*
 等モ用ヒタリ、或ハ哲学思想ト云フ如キ言葉ヲ表
 ハサレ、之等モ終局ニ於テハ所謂学的哲学ト異ル
 所ナキモ然シ種々ノ点ニ於テ学的哲学ヲ論スル場
 合ト態度方法等ヲ異ニシ行クヲ要ス、故ニ之ヲ
 同等視スル事ハ混雜ヲ来ス、故ニ先ツ第一ニ学ト
 シテノ哲学ヲ限定スルヲ要スルト信ス、或ル意味
 ニ於テハ非学的哲学ト云フ事ヲ云ハス事尙シ居ル
 如ク思ハレル然シ之ハ学ト云フ字ハ意味ヲ有セサ
 ルナリ (哲学ハ哲ノ学ニ非ス哲学ナリ) 無論之ノ
 言葉ハ新字ニシテ *Philosophy* ノ訳ナル事明カ
 ナリ、*Philosophy* トハ *philia-sophia* ナリ、
 (愛一智) 動詞ニ *philosophen* ト云フ言葉
 ナリ哲学スルト訳ス之ハ古キ言葉アヘナシ、即チ

Philosophie

Homer / 詩ニハナシ、*Heliodoros*, *Thucydides*
 等ノ時代ニ現ハレシマナリ、之ハ考察ス
 ルト云フ意ニ使用サレシ^カ後 *Socrates* 等ニヨ
 リ *sophia* ヲ有スルモノナラズシテ *sophia*
 ヲ愛スルモノナリト称セラレタ、之等ヨリ *phi-*
losophia ト言フ言葉ク次第ニ使ハレ、之カ或
 ル特殊ノ学向ヲテナク一般ノ知識ナル意味ニ使用リ
 ル、又取シテ今日ノ如キ特殊ノ意味ヲ有スル事ナ
 レリ、是如クシテ今日テハ *Philosophia* ハ或特
 殊ノ意味ヲ示スカ言葉ノ成立上ヨリ又使用サレシ
 事ヨリ考ヘ見テマ必スシモ嚴密ナル学ト云フ意味
 ニハ使用サレス、他ノ数学、天文学、物理学等ハ
 学向ト云フ字カ其ノ中ニ含まレラ居ル、此處ニ云
 フ智ヲ愛ストハ智ノ爲ニ智ヲ愛スル事ト云フ事、
 即純粹ノ考察ト云フ事ナリ、然シ之ヲ必スシモ一
 学トシテ特別ナル取ヲ具ヘシメハナラズト云フ
 事ハ要求サレ居ラス、斯如ク起源ヲ有スル故實際
 之ノ *philosophy* ト云フ言葉ハ屢々後ニ学向以
 外ノ意味ヲ有シテ居ル例ハ或ル詩歌等ノ中ニ或
 巧妙ノ真理カ含まレ居ル時ハ之ヲ詩歌ノ哲理ト称

(4)

ス、或ハ宗教上ノ教義或ハ聖賢ノ教訓等ノミナラ
 ス、極卑近ナ格言等ヲ之ヲ哲学ト云フ言葉ヲ唱
 フ事アリ或ハ普通人ノ云ヒシ言葉ノ中ニモ我々ハ
 屢々哲学ト云フ語ヲ用ケル事アリ要スルニ天地人
 生ト云フ事ニ関シテ大ナル目的ヲナケレハ又自分
 一己ノ利害ヲ離レ又一般ニ考察スルタメニ考察ス
 ルト云フ精神ヲ以テ或感想ヲ述ヘル事ヲ得タラ
 ハ之ヲ又クノ場合 *philosophia* ト称スル如
 ク見ユ、故ニ哲学ト云フ事ハ先ツ学トシテノ哲学
 ニ限ラレ居ラサル事ヲ辨スル必要アリ下思フ、斯
 如ク哲学ハ漠然タル意ヲ有スルモ我々ノ言フ所ノ其
 レハ之ト異リ学トシテノ哲学ナリ、斯如クハマ
 ヲ、哲学ヲ狭クシ或ハ又狭クスルモノナリト云フ風
 ニ考ヘラレルカモ知レナイ、余然我々ト云フ事ハ性
 ヲ普通所謂 *science* ト云フ風ニ解ケラレ哲学
 ト云フ物ハ科学ト異ナリシ別味ノ智識ナリト云フ
 如ク考ヘラレル事アル故ニ之ノ両者ヲ結合シテ行
 ク事ハ哲学ヲ狭クスル事ニ考ヘラレル様ニ見ユルカ
 ラナリ、余然我々ノ云フ学トハ斯如ク別味ノ科学等
 ノ意味ヲ有スルナラス、或ハ要件ヲ異ヘシ智識ヲ

(5)

指スモノナリト考ヘ居ルモノニシテ之ノ学ナルカ
 為ノ哲学ハ決シテ狭クサレ限ラレル恐レナキナリ、
 事實ニ於テハ我々ノ云フ学的哲学モ非学的哲学モ
 同一ノモノト辨スルナリ、只形式方法等ニ於テ異
 ルノミナリ、故ニ兩者間ニ高下ノ別アルナシ、或
 ハ寧ロ深キ、莫ニ於テハ非学的哲学ノ方カ勝リ居
 ル事有リ得ルナリ、蓋シ学的ナルモノハ其ノ学ト
 云フ要件ヲ満スカ為ニ直チニ非学的哲学ノ指ス所
 ニ達シ得サルト云フ事ナリ、即チ哲学史上ニ現ハ
 レ居ル諸哲人ノ学識ヨリ大宗教家詩人ノ其レノ方
 カ深キ事アリ得ルナリ、余然我々ノ云フ事ハ一方
 ヲリ云ヘハ既ニ述ヘシ考察ノ為メニ考察スルト云
 フ事カ其ノ指ス所ノモノナリ、若シ假ニ考察ノ目
 的ヲ充分達セストスルモ考察スル *process* ニ於
 テ充分ニ發揮スルコトヲ得ルナリ、哲学トシテハ
 其處ニ之ニ満足ヲ感シ得ルナリ、斯如シテ唯單
 ニ結果ノ深淺廣狹ヲ依セシテ方法ノ經驗ノ完全
 ヲ送フ事ヲ以テ哲学ノ一特色トスル之類ニ学的哲
 学存在ノ理由アリト称スヘシ、斯如ク我々ノ哲学ハ
 学的ト云フ特色ヲ有ス、然レラ學的ト云フ事ハ

マリ曖昧ナリ、之ニ少クトモ程度アリト考へ得、
 之ハ既述セシ所ヨリ窺知スルヲ得ルナリ、其程度
 階級ハ種々アレトモ然レラ之ヲ大体ニ於テ區別シ
 テ二種階級ヲ定メ得、假ニ前者ヲ公衆的、他後ヲ
 学同的、講談的ト區別ス、即チ公衆的哲学ハ比較
 的非学的ニ近シ、即チ学同的^徹カ完全ニ表ハレ居
 ラサルナリ、非学的ト学同的カ既ニ或ル^高ニ行ケハ
 區別困難ナリ、況ンモ公衆的^高の哲学ニ於テオ
 ヲ、然レカク區別スル事カ便利ナレハカク分ツ、
 例ヘハ Kant ノ言葉ノ中 *Schulbegriff* ト
Weltbegriff ト云フ風ニ哲学ヲ區別ス、又
 Kant ノ講義中ニ *Insenes scholastic*、
Insenes cosmopolitic ト云フ風ニ分ケ居
 レリ、之ハ上ノ意味ト少シ異ル、又其他世界觀哲
 学、最密ナル学トシテノ哲学ヲフ風ニ區別シ居ル
 人アリ、又 *Volk tumplich, Akademisch P.*
 之等ニ俗度私ノ云フ意味ト同シ、昔ヨリ *Popula
 rl. P.* ト云フ言等ハ屢々使用サレ居、昔ヨリ大
 体之ノ哲学ヲニツニ區別シタカカ便ナル事ヲ考
 ヘ居レカ知シ、之ノ區別ハ決シテ價値ノ別ヲ認ル

シ事ヲハナシ、畢竟之ノ有ハ説ク所ノ真理説ハ人
 ニ高下ノ差アル分ケナラス、一人ニシテ両者ノ説
 ヲ得、又両者ノ目的カ異ルナリ、前者ハ一般の考
 察ノ結果ヲ最少学同的組織ニ構観シ諸種ノ用ニ供
 セントシ後者ハ之ニ至ル迄ノ *process* ニ自キ
 ヲオクモノニシテ為ニ之ニ至ル事能ハスツテ中途
 ニテ特種向類ニ止マル事アルヘシ、哲学カ漸次学
 同的ニ至ル時分ニハカ、ル別アル事ナカリシモ漸次
 大トナルニ及ビ之ヲ避クルヲ得サルニ至リシナ
 リ、其レニ深遠ト云フ事ヲ云ヘハ却ツテ通俗的ノ
 方カ深キ事アリ、從ツテ一人ノ説ハ所ニ於テ何レ
 ニ屬スルモ分明スルニ困難ナル場合起ル、各々之
 レハ夫々ノ領域ヲ有ルト考フル事必要ナリ、然レ
 哲学ノ属スル所ハ嚴密ナル性質ヲ有スル事ニツ
 ルヘカラス、然ル後一般的要求ニ向ヒテ進ム事ヲ
 得テ相メテ学同的ノ哲学カ完備シタル組織^{系統}
 ト稱シ得ルナリ、要スルニ哲学ハ齊整ノ過程中ニ
 アルモノニシテ非学的ナルモノヨリ学的ナルモノ
 ニ進ミ更ニ歸ヘリテ非學的ノ要求シアルモノヲ学
 同的ニ示シ得ル事ヲ要スルナリ、(之ハ理想ナリ)從

ツテ我々ノ哲学ハ学的哲学ニ先ツ重キヲ置ト云フ
事ヲ説クヲ要スルナリ、

B. 哲学ノ形式

既ニ我々ノ云フ哲学ハ学ナルト云フ事ヲ認メタ
ナラハ次ニハ之ノ哲学カ果シテ一般ノ学的要件ヲ
具フルマ否マ如何ナル哉ニ於テ他ノ学ト異ナル
ヤト云フ事ヲ明カナラシムヘシ、斯シテ凡テ事物
考察スルニハ *form* ト *matter* ノ両方面ヨリ
スルヲ得ルトセハ今哲学ハ之ニ異ニ於テ他ノ学
ト如何ナル關係ニアルカヲ知ルヘシ、

学的智識ニ於ケル共通ノ形式ヲ認メルヲ得之ハ
学的智識ノ一般要件ニシテ之ノ具ハ哲学ノ具ニ
ハキ物ナリ、又共通ナラケル物ニヨリ區別サル
之ヲ次ニ明カナラシム、先ツ学的智識ノ一般要件
ハ大体次ノ三異ニ歸ス、

1. 学的智識ハ觀察實驗ニヨレル概念的智識ナリ、
2. 学的智識ハ分類統一ニヨレル体系的智識ナリ、
3. 学的智識ハ方則説明ニヨレル合理的智識ナリ、
之ヲ概観義ニ於ケル体系的智識ト云フ言葉ヲ表

ハスヲ得ルカヲ知レズ、凡テノ科学ハ論理ノ具ニ
於テ之ノ三要件ヲ具フルナリ、尚ズ之ノ三要件ニ
ツキ又對意見ニアリ、例、第3ニ於テハ或學者ハ
全ク許サ、ル所現ニ自然科学者中ニテ合理的智識
ノ物理学等ニ然ラストスルモノアリ即チ科学ハ事
實ヲ離レ得ルカ故ニ事實ノ説明ヲスルヲ得ス記
載ニ止マル、之ヲ事實トスルニハ假定ヲ置カサル
ヘカラストスルモノアリ、(*Kindheit*) 其他又
科学ノ意味ヲ廣ク解セハ例ヘハ極度ノ知ヲ科学
中ニ入ル、時ハ之ハ自然科学ノ自然現象ヲ見ル如
キ一般法則ニ支配サレ居ルト説ク事ヲ得サルト云
フ者アリ、故ニ第3ニ對シテハ色々ト異論アルナ
リ、然シ之ヲ廣義ニ解スレハ之ヲ許シテ可ナリ、
哲学ハ之ノ具ニ於テ他ノ科学ト同一性質ヲ有スル
ト稱スルヘシ、ノミナラス次ニ説ク要件殊ニ第3
ノ要件ニ於テ他科学ヨリ深ク強ク不サ、ルヘカラ
サル具アリ、斯様ニ哲学ハ他ノ科学ト共通部分
レト又異ル部分ヲ有ス、其ハ哲学ハ其ノ根本ノ非
学的ノ物ニ於テステニ見ル如ク一種ノ一般考察
ト云フ事ヲソノ一特色トシテ有ス其レヨリ説明法

別ト云フ事カ殊ニ表ハレ来タルナリ、即チ種々ノ科学ニ於テ用ヒ居ル法則ヲ更ニ徹底シテ明カナラシムルト云フ所ヨリシテ一般問題ヲ起ルナル故ニ一般的事象ト云フ事ト法則的説明ト云フ事ハ離ルヘカラサル關係アルナリ、斯如シテ哲学ニ於テハ他科学ト異ナリシニ一般性ト云フ事カ第一ニ現ハレ来ル之ヲ他ノ言葉テ哲学ハ根本的原理ヲ説クモノナリト称シ得ルナリ、根本的ト云フ事ハ第一ノ意味ヲ有ス。

1. 一般的 (普遍的)
2. 窺境的
3. 統一的

即チ之ナリ、或ハ之ヲ凡線シテ絶対的ト云フ風ニ言ヒ現ハスヲ得、科学モ或程度迄ハ之ノ性質ヲ有ス、科学ノ内ニモ種々ナリテ之ノ段階ヲ以テ現ハレテ来ル、斯様ニ根本的原理ハ言葉トシテハ理解サルハ、一歩進ミテ如何ナル所ニ存スルマト云フ事ニツイテハ異論アリ (1) 之カ科学ノ原理ト全ク異リ之ト離レテアルカ、或ハ (2) 之ノ中ニ存在シ居ルモノナルカ (3) 或ハ内ニモ外ニモナク

シテ或特殊ノ意味ヲ有スルカト云フ事ニヨリテ言葉カ分カル、形似上學カ後者ナリ、科学原理其者ナリト云フハ經驗論、第一ニ批判哲学、或ハ之ニ英セル如キモノナリ、斯様ニ根本原理其ノマノカ既ニ解説ノ要無クテホケナリ、此原ニ哲学ノ形式上ノ特殊性カ生スルナリ、之ト共ニ全一ノ特殊性ト称スルモノハ根本原理ノ性質ナリ、即チ根本原理或ハ絶対原理ト云フト確定セシモノ、如ク思ハレルカ之ニツイテモ色々ノ意見カ生ス、形似上學ノ方ハ動カナイト云フ莫ニ存ス、經驗論者ハ動カナイモノヲ認めサル立場ナリ、其ノ向ノ立場カ批判哲学ノ立場ナリ、コノ動カトモ動カナイトモ見サル所ニ進歩ト云フ觀念カ入リ来ルナリ、哲学ノ根本原理ト云フモノカ学トシテ現ハレル爲ニハ進歩ト云フ事ニ異ナリテ考ヘ来タラバ之ヘカラス進歩ト云フ事ハ如何ナル科学ニ於テモ見ル所ナリカ哲学ニ於テハ特ニ之ノ根本原理ノ性質ヲ問カナラシムル爲ニ進歩ノ觀念カ併セテ強ク説クレナケレハナラス、蓋シ多クノ科学ノ原理ハ本ヨリ科学者ノ唱ヘシモノナルカ然シ其ハ一客觀的事實ノ如

ク解散サレテ居ル科学者ノ主観、科学自身トハ離
 レタモノト考ヘラル。(例 Newton / 引力ノ法
 則ノ如シ) 然レテ哲学原理ハ之ヲ業出シテ哲学者ト
 密接ナル関係ヲ有スルモノナリ。即チ単ニ客観的
 事実ニヨリ作ラレシモノナラスシテ客観ノ事実ヲ
 主観カ考察スル諸種ノ態度ニヨリ作出リシモノ
 ナリ。哲学ノ単ニ事物ノ関係ヲ説キ居ルナラスシ
 テ事物ニ対スル我ノ主観ノ見方ヲ之ニ加ヘシモノ
 ナリ或ルイハ物ト我トノ関係ヲ示スモノナリト云
 フヲ得。カ、ル莫ヨリシテ哲学ノ原理ト進歩ト云
 フ事ハ密接ナル関係ヲ有スルナリ。

哲学ノ内容(対象)

哲学ノ形式ニ於テハ其レカ一般性ヲ有スルト云
 フ事一説キシカ之ノ形式カ同時ニ哲学ノ内容ヲ現
 示スルモノナリ。即チ形式ニ一般性ヲ有スル哲学
 ハ其ノ問題モ亦一般性ナルモノナリト推定スル事
 ヲ得ル。古来屢 universal science ト云フ
 言葉ヲ採ルハ、必然ナリ。即チ其ノ意味ニ於テ

philosophy / 内容ハ所謂一般性ナル物ト云フ
 言葉ヲ採ラハスヲ得或全体ノ世界或ハ経験ノ全体
 ト云フヲ得。然レテ之ニ對シテ云フ世界、経験トク有
 スル物、ト云フ物ニ言葉ヲ表ヘシ得ルカ之ハ客観
 的ニ外界ニ存在シ居ル物ノ如ク見ユル意味ヲ有ス
 ルカ如ク之ニ對シテ云フ世界ハ今少シ迄キモノ外
 部ト共ニ内部、客観ト共ニ主観ヲ含ム即チ普遍ス
 ヲ世界トハ主観即チ我ニ對スル物トナル故、今世ハ
 ル世界全体ハ我ニ對シテ對スル物、再考ヨリ成立スト
 換言シ得。カ、ル莫ヨリシテ哲学ノ対象ノ物ト云レトニシ
 テ之ノ關係カ哲学ノ問題トナル。斯様ニ物我ノ一者
 ヲ區別ストハ其關係ヲ種々ノ方面ヨリ定メ得。即チ
 一物カ我ニ對シテ傷ク場合而シテ我カ只其ヲ受取ル
 場合而シテ我ノ傷ヲ表面ニ表ハルル場合ト云フ如
 キ立場、即チ主観的欺瞞ヲ際キ去ル状態ナリ。(我ヲ
 リテ我ニキカ加ヘテリ) 之ヲ場合ヲ別々ナリト
 ノト考ヘル時種々ノ科学ノ問題トナル之カ一般性ナル
 物全体トシテ考ヘシ時 philosophy トナル古
 来屢クノ場合哲学問題ト考ヘテレシハ之ナリ。之ヲ
 或ル實在ノ学、物全体ノ学或ハ自然ノ学ト云フヲ得

之ノ部ヲ或ハ自然哲學或ハ metaphisic ト云フヲ
 得、亦=、今度ハ我カヲ物=對シテ傷クゴトアリ之
 ヲ行動ト云フ、之行動ノ全体ヲ我ノ Leben ト云フ言
 葉ヲ表ハタハ之ノ部分ヲ一般^的=考察スルモノヲ
 Leben 哲学ト云ヘル之ヲ部分的=考ヘル場合=
 ハ法律或ハ倫理學等各種ノ人生ノ現象ノ科學ヲ得、
 之等ヲ凡^綜スル物ヲ名附ケテ人生哲學ト云フナリ、
 今之^欠=物ノ種々ノ傷キヲ結合統一スル傷キカ我ノ
 内=起リ来ル、之ハ直接物=影響スル=亦ス我ノ内
 ノ一傷キナリ其ノ莫ヨリ云ヘハ *passive* ノ傷キナ
 リ、然レ其ノ *passive* ノ中テアリナカラ一統=作
 用ト云フ物カ表ハレ来ル之ハ物ノ種々ノ傷キヲ *erk
 annen* スル傷キナリ、之カ一般問題ト考ヘル時
 哲學問題トナル、之カ智識哲學ト稱スルモノナリ、
 之ノ智識ハ狹義テハ事物ノ關係ヲ明カ=スル之ヲ統
 一スル傷キナルカ(我カ内=於テ)之ト共=起ル一
 種ノ傷キアリ其ハ事物ノ直接ノ影響トハ勿論ナラス
 又事物ノ智識=マナラス唯事物ノ觀念=共ナイテ我
 自身ノ中=一種ノ影響ヲ受ケル事ナリ、之ヲ一般=
 觀察スルト云フ言葉ヲ用フ、之ノ場合感情ノ傷キカ

大ニ^知ルキニ^{智識}ト離レテ見ルト、之ノ一般^的=事
 物ヲ行スル或ル理想ヲ認メル傷キト解スルヲ得、之
 ノ場合ノ理想ヲ智識或ハ行為=於テ實現スル所ノ物
 ト區別シテ智識=上スヲ得、智=對シテハ其行動=
 行シテハ善ナリ、之今述ヘシ範圍スル如キ哲學=於
 テハ一般=善ヲ理想トスルヲ得、然ラハ之^欠=美ノ
 哲學、若シクハ藝術哲學ト云フ物カ智識哲學ノ分派
 トシテ得ルヲ得、更=尚自然或ハ物=對シテ其ノ
 物自身^の或ル理想カ感^り居ル如ク考ヘシ場合=ハ物
 自然ヲ我ノ如ク見ル立場トナリ自然ヲ對ト云フ言葉
 テ表ハス、宗教的態度カ生^スル^政=一般^的=シテ宗
 教哲學カ生^スルナリ、其他人生程々ノ傷キヲ其レ=
 何等カノ一般性ヲ認メシ時=ハ之=マ哲學ト云フ名
 ヲ與ヘ得、例ヘハ歴史、法律^的現象ヲモ一般^的=見
 ル立場ヲ得ルナラハ歴史哲學、美術哲學等ト云ヘ得、
 斯如クシテ哲學内容ハ及少細分シ居リ色々ノ *depar
 tment* カ出来ルト考ヘラレシ、古来名^ク哲學ノ
 分派ヲ考ヘレハ以上ノ如ク=得、然シ之ヲ最モ一般
 的=云ヘハ藝術哲學、宗教哲學等ハ他物ノ特殊^的ナ
 ル物中=加ヘルヲ得、自然^的叙述スル如ク形似^上學、

22
 1122
 1522

自然哲学等ハ一部分(1) 学中 = 導カレ一部分ハ智識哲
 学中 = 入ルヘキモノナリ、如何ナレハ物一般の = 全
 体的 = 考察スルコトハ我ノ統一作用ヲ持タスシテ出
 来サル事 = シテ所謂形似上学ナル物ノ最後ノ解決ハ
 結局智識哲学ノ立場 = ヨリ定メラルヘキ物ナル故ナ
 リ、尚其他 = 古来形似上学ト称サレ居ル物ノ同類ハ
 今日尚之ヲ維持シ得ルト見ル人アリテ彼 = トリテハ
 独立ノ学トナシ得ルナルカ智識哲学ノ或ル立場ヨリ
 スレハ独立シ得サルモノナリ其ノ立場ヲ取レハ結局
 自然哲学若シクハ独立物トシテ成立シナクナルナリ、
 之等ハ色々論アル所ナリ、之等カ哲学ノ内容トシテ
 考ヘラレル所ナリ、

哲学ノ問題(哲学ト科学)

哲学ノ意味概念ヲ明カナラシムル爲 = 以上主トシ
 テ哲学其ノ物ノ問題トマラレシ所ノモノヲ分析説述
 ヲシカ其他尚哲学ト科学トノ関係カラシテ別ノ解釈
 ヲ附加スルヲ得ルナリ、先ツ~~科学~~学其ノ物ノ性質ヲ論
 シ分類ノ問題ヨリ入ラソ、

科学の分類 / 統一作用の標準

科学ノ分類 = ツキテハ古来種々ノ提案アルモヤリ
 シヤ = 然ラテ学問ノ分類等 Platon, Aristoteles
 等 = ヨリテ企テラレシマ、近世 Bacon ノマシ
 新ラシキ学問ノ種類ヲ比較的精密 = 説キシク進歩セ
 ル学問ノ分類ト称スヘキナリ、彼ノ分類ハ科学研究
ノ場合ノ意識作用ヲ標準トマリ 即チ主トシテ意識
 = 智識推理 = ヨルモノトノ方面アリ、科学其物ノ性
 質ハ同一ノモノナルヘク研究才或ハーツノ形式 = 帰
 スルモノナリト、古来アリシ Aristoteles 論理学
 = 対シ新ラシキ帰着法ヲ附加シ之 = ヨリ如何ナル問
 題モ同様 = 研究スルヘシト云ハリ、然ル = 19世紀
 終リ頃ヨリ科学研究ノ事柄ノ根本性質 = ヨリテニツ
 ノ大キナ部門 = 今ケル方法現ハレ来レリ、即チ一ツ
 ハ物質若クハ自然物、一ツハ精神、ハ = 開スル学ト
 = 分類マリ、然シ之ノ場合 = モ研究法ノ理想ハマハ
 リ自然科学 = アリシカハ、結局根本的區別タリ得サ
 リナ、唯単 = 研究スル事柄ノ區別 = 適テサリテ 故
 = 又同クカクアラケル理想一方 = 行ハレ私ノ Comte
 ノ如ク凡テノ学問ヲ一列 = 直線ト = 排列スルク如ク
 試マナス人カ現ハレタ、即チ彼 = ヨレハ哲学ヲ基ト

ト邊=社会学=ト云フ風=スルナリ、然レノ斯様=見
 テマ學問ノ研究上自然現象=関スルモノト否トラズ
 別スルノ便アル故=分スル事カ(自 精) 科学分類
 ノ方法トシテ行ハレル=至ル、例ヘハ Wundtノ
 論理学、哲学統系等=於テ之ノ二種=分ケテ其レ=
 各々特有ノ研究法アリトシテ詳シク之ヲノ科学ノ部
 門=属スル物ヲ列挙シ居ルナリ、

Wundtノ科学分類論ハ細キモノ=シテ而シテ種
 マノ科学ノ特色ヲ認メ居ル所ヨリシテ兩種科学モ方
 法論的=多少區別シテ居ルカ然レ見方=ヨルハ多少
 自然科学的方法カ標準タリ居ル如ク見ユ、之=対シ
 テ又全ク異ナル立場ヨリ分類ヲ試ミルモノ出ツルモ
 怪ム=足ラス、Wundtテハ精神科学ト云フ物ヲ別
 殊ノモノト見居ルカ乍然精神科学ノ基礎タル學問ト
 シテハ心理学ヲ認メ居テ而シテ心理学ノ研究法ハ全
 ヲ自然科学=取ルル、所謂實驗心理等ナリ、
 Wundtノ心理学ハ或ル人ヨリ見レハ精神現象ノ
 自然科学ナリ、之ノ心理学ヲ基礎トセル自然科学ナ
 ルモノモ、種々精神現象ノ自然科学ナリ、カハル莫
 テ Wundtテハ自然科学本位ナリ、之ト異リ自然

科学=対スル物ノ物類ヲ認メ之ヲ以テ全ク自然科学
 方法ヲ研究シ得サルモノトスルナリ、其レハ言葉ハ
 精神科学或ハ其他ノ言葉ヲ用テ得ルナリ、例ヘハ
 Dilthey 精神科学ノ基礎タル心理学ハ自然的ノ
 心理ナルヘカラスト、之ノ兩者ノ相違ハ精神現象ハ
 意味價值理想等ノ具ナフ現象=シテ自然=対スル場
 合トハ異リ居ラサルヘカラスト Wundt
 ハ自然科学=対スルモノヲ歴史哲学、Richertハ
 Kultur ト云フ言葉ヲ用ヘタリ、之ハ歴史トカ文
 化トハ自然トハ全ク異リ居ルナリ、W. 自然科学ハ
 或ル事實ノ一般的方法ヲ建設スル事ヲ目的トス、之
 =対シ歴史、文化哲学ハ一度々起ル出来事ヲ確実
 的=表シ出サントスルコトヲ目的トスルモノナリ、
 自然科学ハ法則定立的、他方ハ特質記述的ナリ、所
 謂精神科学ノ心理学ハ別=特質抽出アハナク、固クニ
 自然科学ナリ、其他精神現象ト云フ物モ一般法則ヲ
 示スモノトシテ表ハレ来レハ本ヨリ皆之ハ自然科学
 一属ス、唯特質記述的方面ヨリ見ル場合自然科学タ
 ラサルコトハナル、乍然特殊ノ科学トシテ事實ヲ記
 述スル事ハマハリ何時カ法則ナカルヘカラスト、唯事

実 = 無意味 = 集メテマ学同トハナラス。全体ノ現象
 カ如何ナル意味ヲ以テ人生中ニ表ヘタルカヲ考ヘ
 テ事實ノ撰取ノ標準カ定マル即チ事實カ全体ニ對シ
 テ如何ナル価値有スルマカ定マリ。即チ全体ノ現象
 カ如何ナル意味ヲ示スカ。即チ人生ノ意味、目的、
 價值、理想等カ事實撰取最後ノ物トナルナリ。カ
 ル撰取ナル学同ナリ。之知ニ注意スヘテハ價值ニ関
 係ソケルト云フ事ハ價值ソケルト云フ事ナラサル事
 ナリ。カクシテ自然科学ト非レル物トノ部類ヲ分カ
 ストスルノカ Winderhandノ立場ナリ。

Wundt モカクノ如ク説ヲ説ヘテ居ル。精神現
 象ハ價值關係ヲツケル事ナリト云フ居ルカ全然同
 シキ物デハナイ。カクシテ科学ニ種類アルコトカ
 分ル。之ノ場合ニシテ哲学トノ關係ハ又特別ナル意
 味ヲ有スルニ至ル。従来 Philosophy ハ科学ノ根本
 原理ヲ論スル者ナリト云フ解スルマ之ニヨルト凡テ
 ノ科学ハ同様ニ哲学ニ帰着ス而シテ其ノ哲学ハ (1)
 科学ノ諸原理ヲ凡綜シタモノトスルカ或ハ (2) 科学
 原理以上ノ物ヲ説クト云フ風ニ分ル。何レニシテモ
 哲学ハ凡テノ科学ニ同様ニ關係ヲ有シテ居ルトシタ。

之ハ凡テノ科学ハ同ニ方法ニヨリ考察セルヘキモノ
 ナリト云フ見方ト結合スヘキモノナリ (Bacon 或
 ハ Comteノ如キ凡テノ科学カ哲学ニ同様ニ結合シ
 テ居テ其ノ一般ノ原理ヲ考究スルモノナリトスルナ
 リ) 之ニ對シ若シ學者カ全クニ方法ヲ有スルモノニ
 分レルトセハ之ニ對スル philosophyノ關係ハ又
 異リ来ル。凡テノ科学ハ智識ナリ。故ニ智識ノ根本
 原理ヲ論スルモノカ基礎タルヘキナリ。科学ノ根底
 ニ智識哲学カ存在スヘク其ハ同様ニ種々ノ科学ト結
 合シ居ルナリ。カ茲科学中ニ二種ノ別アリ。一方ハ
 自然科学ア一般ノ法則ヲ定ムル性質ヲ有シ他方ハ或
 價值ニ關係ソケテ事實ヲ確立スル其レヲ再現スル
 ト云フ様ニナレハ價值觀念カ重要ノ意味ヲ有スルニ
 即チ文化科学ハ大ニ特殊ノ文化價值ヲ確定シテ成立
 シ居ルモノニシテ之ノ特殊ノ文化價值ハ他ノ一般ノ
 文化價值ヲ予想シテ成立スルモノナリ故、文化科学
 ハ絕對的文化價值学タル文化哲学ヲ予想シ居ト謂フ
 ベシ。

第 = 節 哲学ト形似上学

1. 哲学ノ方法

a. 一般方法論

既述マシ如ク哲学 = ツキ我々ハ智識哲学ト文化 *Philosophy* ノ = 部門ヲ認メントスルナラハ従来哲学ト同一視カレ居シ形似上学或ハ自然哲学ト云フ物ハ何處ニ帰スルマ? 換言セハ形似上学ハ哲学問題トシテ存在スルマ、ト云フ事カ問題トナル、之ニ對シテ我々ハ従来云ハレ居シ形似上学ノ或部分ハ棄取シテ智識哲学トシテ考究サレ得ルマ大部分ハ學的哲学ヨリ除去セラル、ト考フナリ、之ノ事ヲ次ニ形似上学及

ノ方法上ヨリ考ヘン次ニ其ノ内容問題上ヨリ考ヘントス、亦(リ)ハ方法論ナリ、

哲学カ若シ普通ノ科学ト異レニ方法ヲ有ストセハ或ハ之ニ應スル幾ノ特殊ノ部門即チ形而上学ノ如キ物カ成立スルマモ知リス否形学ヲ超越的ナルモノニ関スル学ナリト考フル場合ニハ之ニ違スル論ニハ又普通ノ方法以外ノモノナカル

ハカラス若シ之知ニ哲学ノ方法ハ他ト改ラサル物ト考フルナラハ其レハ方法上既ニ形而上学ヲ否定スルモノト謂フヘシ故ニ亦一ニ方法論カ問題トナル。

古来哲学ノ方法ヲ多少特別ナル物ト見ル見方ハ少ナカラカリキ、又一方批判ナシト見ルモノモ幾クニシテ非ス、概シテ首ニハ経験哲学ヲハ後者ニ屬ス、從ツテ之レニハ形而上学ナシ、然ルニ然ルニ経験家ヲナク尚之ニ重キヲ置ク一級モアリ、之ノ則ニ於テハ其少形学カ説カル、其ノ一例トシテ近代ニ於テハ自然科学其他一般ノ科学ヲ出解スルトシテ形学ニ浸入シテ行クモノヲ學クルヲ得、19世紀ノ中ハニ於テ見ル、其ノ内 *Wundt* ヲ挙ク、彼ハ蓋シテ方法論上カラハ哲学或ハ形学ニ特殊ナルモノナレト主張ス、哲学ニ限ラサル一般方法ハ如何ナルモノナリヤト云フ事ハ先ツ抑一ニ考察スヘキモノナリ、一般方法トハ結構、論理学ノ應用ナリ、或ハ論理学(廣義)ノ一部ナレモノナリ、*Wundt* 等ノ例キヲ應用シテ作リシ方法ナリ、凡テノ科学ハ

之ニヨル、哲学ニ特殊ノ物ナシト稱スルモノハ
普通之ニヨリテ構成セシトスル者ナリ、然レ普通
方法ハ種々ノ假定ヲ有スル故充分ニ経験以上
ノ世界ヲ説キ得サルカ如ク考ヘラル、其ノ假定
トハ大体ニ於テ次ノ三者ヲ擧ゲ得、

(1) 可分析性、(2) 可還元性、(3) 普通ノ論理
ノ原理 a、矛盾ノ原理 b、理由原理ナリ、
然レニ超越経験ノ形學ハ之ノ假定ニ入ラサル場合
アリ、独リ超越シタルモノノミナラス或ル場合
ノ経験ニツキテモ多少コノ事ヲ考ヘラル、例ヘ
ハ上カノ現象ノ研究ノ場合分析シテハ駭目ナ
リ、又或ル現象ハ部分的ニ考究シタモノト全ク
違ヘシ物ヲ全体トシテ表ハスナリ、之ハ蓋シ
得サルモノナリ、又矛盾ノ原理等ヲ厳密ニ守ル
ト根本ノ原理ヲ建設スルトカ或ハ全体ノ原理ヲ
作ルト云フ事ハ不可能ナルモノナリ、例ヘハ道
徳ノ原理ヲ規定セントスル時全ク帰還論法ノ如
ク成リ了ル事アリ、況ヤ超越経験ノ場合ハ尚然リ
故ニ一般ニ研究サル、哲学ハ古来、形學ト
ハ相成ル事遠キモノナリトイフヘシ、若シ之ヲ

形學カ多少ナリトモ超越的性質ヲ帯ヒルトスレ
ハ其ハ既ニ暗ニ以上ノ三假定ヲ破ツテ特殊ノ方
法ヲ用ケ居ルト見ルヘシ、之事ハ Wundt 其
他ノ自然科学的哲学、形而上學等ニ於テ明カニ
見ルヲ得、之等ハ多ク类推法ヲ用ケテ居ル、
之ハ不完全ニ Induction 之ノ如キモノナル
カ Induction ナラス 之ヲ以テ學ヲ作ル
ト云フナル故其意ニ何等カ根據他ニ在リト見ル
ヘシ、如是シテ我々ハ之ヲ、假定ヲ避ケ得ル特
殊ノ方法カアルナラント云フ事ヲ形而上學ノ立
場ヨリ認めサルヘカラス、

6. 特殊方法

之ハ本ヨリ人ノ意識ニ表ハレ来タルモノ故所
謂一般方法ト全然絶縁シタルモノト云フヲ得
ス今其レニ一般方法ノ本質ヲ考ヘ見ルニ其レハ
ニツノ手續ヨリ成立ツ事ヲ知ル (1) ハ演説ト
モ謂ハル、狭義ノ論理、推論ナリ (2) ハ帰納
的ニシテ狭義ノ経験ト云フ事ヲ得、即チ経験ノ
材料ヲ論理ヲ整理シテ智識或一般學問カ出来ル
ナリ故ニ特殊方法トイフモノモ結構經驗ト論理

=相当スル物=ヨリ出来居ルモノ=シテ只其ノ
 趣ヲ異=シタルモノナリ、先ツ普通論理ハ形式
 的ノモノナリ、故=論理ノ材料ハ經驗=ヨリ補
 フヘシ、又一方經驗ハ普通ノ場合=於テハ何々
 ノ事物=ツキヲ産ルモノナリ、故=全体ヲ一時
 =經驗スルコトハ出来ス、若シ此処=全ク經驗
 的材料ナキ論理カ出来ルトスルナラハ之ハ超經驗
 的智識ヲ得ラレル訣ナリ、一方又何々ノ事物
 =補ハレサル全体的經驗ト云フ物カ出来ルトセ
 ハ又經驗的智識ヲ得、*metaphisic*ハ之ノ二
 方法=ヨリテ可能ナリトマラルナラシ、即チ特
 別ノ論理經驗ナリ、又古来多クノ形而上学ハ之
 ノ二者ノ何レカ=依リ居テラレシモノナリ、殊
 =哲学又=於テ表ハレル正系トモ云フヘキモノ
 ハ亦(1)ノ物ヲ以テヤシ論理ヨリ来ル、之ヲ論理
 的形而上学ト云フ、之ニ對シテ傍義トモ云フヘ
 キハ特殊經驗ヨリ来タルモノナリ、カ、ル特殊
 ノ經驗ヲ内面的若シクハ 經驗ト云フヲ得ヘ
 シ或ハ 故=之ノ英ノ形而上
 学ハ直覺的ノ名ヲ附セラルヘキモノナリ、之レ

方法上ヨリ見シ形而上学ノ=種ナリ、若シ之等
 ノ方法カ共=未ダ完全テナイト云フ事カワカレ
 ハ之=ヨリテ之ノ形而上学ノ根據カ破レル訣ナ
 リ、次ノ問題ハ之方=用ケラル、方法ノ建設=
 ナリ、

論理的方法

Hegelノ哲学ノ辯証法ハ最も完全セルモノ
 ナリ、之ハ概念ノ論理的発展ソノモノカ直チ=
 實在発展形式トナルト見シナリ、之ノ方法ハ一
 言ニシテ云フヲ得サルモ非常ニ巧妙ニシテ数量
 ノ真理ヲ吾人モ多クノ人カ評スル如ク又論理ノ
 之ヨリ来タル=非ラスシテ暗=或ル種ノ假定ヲ
 信ム事ヲ知ル故=Hegelノ論理的形而上学
 ハ或ル種ノ直覺的形而上学ナルナリ、結局形而
 上学ノ方法ハ一種ノ直覺的意味ヲ持ツモノテナ
 ケレハナラナイテ事ハ多クノ形而上学=ツキ知ラ
 レル事ナリ、換言スレバ論理的方法ハ單獨ニハ
*meta*ヲ作ル=足ラス、之ノ方法ハ前述ノ3
 假定ヲ多少排シテ居ルト云フ莫=於チ特殊ノ趣
 ヲ異ヘテナリ、例ハハHegelノ辯証法ヲハ或

ル概念カ自分自身、中ヨリ否定ヲ生出ス、Aハ
 non Aヲ生ス、有ハ其ノ自身無ヲ生スト云
 フナルカ之レ一見矛盾原理ヲ破レルモノナリ、
 又彼ノ概念、如ク其自身ノカテ發展スルモノナ
 リトスレハソノ發展ノ極ハ到底其迄ノ概念ニヨ
 リテ示シ得サル特性ヲ現ハスト云フヘシ、故ニ
 其等ノ真ニ於テ初メノ二假定ヲ破ル、如キ論理
 的方法ニハ從來ノ假定ヲ破リ居ル真ヲ認ムルカ
 テモ一種ノ論理的作用ナリト云フ限リニ於テ結
 局一種ノ分析綜合ヲ具フル事ヲ免カレス、之ノ
 真ニ於テ一歩ヲ進メ居ルハ直覺的方法ナリ、直
 覺論ノ立場ヨリ云ヘハ普通經驗ハ只外面ヨリ間
 接ニ行ハレ居ルモノナルカ之ニ對シテ内部ニ究
 入シ直接ニ經驗シ得タラハ之ニ依リテ從來ノ
 經驗ヲ握把スルヲ得ガリシ本体ニ接スルヲ得ル
 ト見ルナリ、之ノ論ノ近代ノ最メ著名ナルモノ
 ハ Bergson ナリ、或ハ之ノ方法ハ體驗ト云
 フ言葉ヲ以テ現ハサル、例ヘハ Dilthey ノ
 如キハソノ例トシテ昨今名高シ、之ノ方法ニ關
 シテハ色々論スヘキ事アルカ、又ニ進シテ體驗

或ハ生命ト云フコトニ本ツキテ哲學ヲ生命ノ一
 部ノ動中ニ遇テガルト云フ所ニ論シテ行クナリ
 然レテ種々ノ疑問起ル、生命ノ意義如何ナ
 リ、又動物的ニ生ル事ニ非ラズト云レハ哲學ト
 カ智識トカノ關係カ復然タルハナリ、又其レ
 ニ共ナク直覺トカ體驗等モ人ノモノナル以上人
 ノ智識ノ他ノ動中ト云テ得タルヲ得カ、ル
 意味ニ於テ直覺取而上等ノ若シ能クニ直覺ト云
 フ事ノミヲ云フナラハ學トシテ形而上學ヲ立
 ツルヲ得ス、若シ然ラズトシテハ(或カトシテモ
 學的性質ヲ有ストモハ)諸ニ論理ヲ取入レ居ル
 事ヲ認ムル事ハ容易ナリ、其レヨリ論理ヲ取
 直覺的方法モ其ハ分離シテ存在スルモノナラズ
 初ヨリ要求ガシ居ル如ク經驗的經驗的等論ハ之
 等ノ方法ヨリ得ルモノナルヲ推論スルヲ得
 若シ全体超越シ居ルモノト云フナラハ學トシテ
 ノ形ヲ變ヘテ入ルハ別ナリ、然シ方法論的ニ考
 ヘルナラハ學トシテ形而上學ハ初メニ揚言セ
 シ程ノ超越的ノモノナラザリシナリ、然シ之ノ
 根柢ニ多クノ問題カ残リ居ルナリ、之等ハ初メ

カラ経験対象ヲ独立ニ存在スルモノト假定シテ居ル、而シテ又我々ハ直ニ何事カノ方法ニ到リ居ル事ヲ假定シ居ル、然シテラ根本的考究ヲナス哲学ニ於テハ之等ノ假定ヲ其ノ儘受入ル、ヲ得ス、此處ニ如是キ種類ノ假定其ノ物ヲ考究スルモノカ予メ存スルヲ要ス、カ、ル、其、ヨリ、出、発、ス、ル、方、ヲ、批、評、的、方、法、ト、云、フ、而シテ之カ智識哲学ノ問題ナリ、故ニ方法上ヨリ云ハハ形学ハ之ノ智識哲学ノ一部分トナルヘキナリ、即チ智識哲学ノ基礎ヲ持テ得ル形而上学ハ学トスル事可能ナリ、

2. 形而上学ノ問題

此、形而上学ノ問題ニ関シテハ古来色々讀カアル、例ハハ Aristoteles, metaphisica ハ(彼自身カ作りシ名ナラス) 多クノ形而上学ノ中ニモ神ニ関スル議論ヲ主要ナル題目ト見ケルモノ少ナカラス、18世紀ノ哲学ノ中ニモ多クアルナリ、metaphisicoノ問題ハ才ニ神、ニ靈魂、ニ宇宙ト自由ノ論等ナリ、Kantモ之ノ問題ヲ眼中ニオキテ而シテ其等カ果シテ他ノ自然科学ノ如

ク学的ニ説キ得ルマ否マヲ論マシナリ、現代ニ於テキ metaphisic ヲ説ク場合其ノ問題トシテ之等ヲ挙ケルモノ少ナクヲ人創ヘハ Jaspers (Einige Hauptprobleme der metaphisik) (1924) / metaphisik, 同類ノ神, Seele ナリ、経験カ metaphisik ノ中心問題ヲ一般的ニ云ケルヘク論ナリト見ルヘシ、即チ無條件的ナルモノ、或ハ das Absolute 或ハ substanz 等カ此ノ中心問題ナリ、其 substanz ヲ直ニニ論スルモノト、又實在ト経験ニ實現ケル時如何ナル状態、関係ヲ生スルヲト云フ問題アリ之ツマリ實在ノ学ナル形而上学ノ根本問題ト見ルヘシ之ニヨリ我々ハ形而上学ノ問題ニ於テニ實在ニ區別スル一實在ノ本質ノ論、才ニ實在ノ属性ノ論、才ニ實在ノ problem ノ論或ハ作用ノ論ナリ、古来 Ontologyニ實在ノ論ナルカ之レハ才ニ才ニ、問題ヲ含ムナリ又之ニ対シ phenomenology ナリ(今日ノモノトハ異ル)(又 Hegelノ現象学トモ異ル)之ニ當テハ、ヲ見ル事ヲ得、

第一、實在ノ本質ノ論、

實在ノノマノカ如何ナル状態ノモノナリト云フ事ナリ、主体ヲ離ナレテソノマノカ如何ナル状態アリヤヲ見ルナリ、實在カ経験世界ト離レテカ或ハ中ニ存在シテ居ル向題ナリ、一方ハ超越論、一方ハ内在觀カ生スルナリ、普通理ヲハ前者ナリ、然レ之ニ對シ内在觀ニ存在シ得ル訳ナリ、之ト共ニ實在ノ數量關係カ在ス、實在ハカ、凡制限ヲ離レタモノナラサルニカラス、故ニカ、凡關係ナキ訳ケナルニ、數トハ經驗界ノ識ヲハナキナリ、然レ數々ハ之ノ同類ニ數量的説明ヲ加ヘ得ルナリ、其ノ結果能ク超越的ノ立場ヲ取レハ實在以外ノモノハ存在ナルトイフ立場カ出来る、之ニ一元論ナリ、又ニ對シ一元論ヲ徹底シテ極ニスレハ Dualismus = 二元論トナル、既ニ二元論ヲ認ムル以上數ヲ限キテ無限ニ延長シテ一元論ヲ立ツ、即チ二元論ハ二元論特別ナルモノナリ、

Transcendentismus。

Immanentismus。

第三項 實在ノ屬性

(attribute)

唯物論ト唯心論ノ事ナリ、

實在ノノマノ、本質ハ既述セシ如ク超越的ト内在的ナル物ト見得ルカ又之ヲ一或ハ多トモ見得ルカ形而上學ノ立場ヲ徹底シ行ケハ之ヲ超越的ニ一元論ト見ルコトカ寧ロ普通ニ考ヘラル、事ハ既述セシ所ナリ、若シ之ノ一元論ナル本体カ如何ナル屬性ヲ有スルト云フ事ハ或ル意味ニ於テ自己懷意ノ problem ノ如クニモ見ヘル、既ニ實在カ超越的ヲ普通ノ經驗ト全ク異ヲ異ニスルモノトセハ一ト見、多ト見ルコトモ矛盾ナリ、即チカ、凡經驗的ニ分量ト云フ如キ範疇ヲ當テハメル事カ出来る如ク見ユ、乍然一ト云フ事ハ一ト對立ト離レテ經驗的性質ヲ有セサルモノト解釈シテ我々ハ一元論ヲ建テルノテアルカ之ト同様ノ理由ニヨリ實在ノ attribute ヲ説クコトカ出来る、即チ實在其物カ經驗的ノ物ト同シ様ノ意味ニ於テ或ル性質ヲ有スル事ハ矛盾ナルカ經驗ヨリシテ或ル方法ヲ推測シ得ル即チ analogy スハ直覺一種ノ論理的方法ヲ行クトカ特殊ノ方法ヲ之ノ經驗

ヲ超越シ得ルモノト假定セハ實在ノ屬性ト云フ事ヲ
 云々得ルナラン、*Metaphisic* = 於テ之ヲ説
 クノハ如是ク假定ノ本 = 於テ許ルカニシ、最モ簡
 単ナ方法ハ経験ヨリ 推スル方法ナリ、之ノ英推ハ
 普通論理ヲ學フ通リ 確實ナ認識ヲ生シ得サルモ、之
 ノ方法ヲ出テ何等カノ直學トカ辯証法等 = 確人行
 クト云フ風 = 假定シ行クナリ 如是立場ヨリ實在ノ性
 質如何ヲ考ヘントセハ先ツ自分 = 最モ近キ物カラ初
 メ行クコトカ便利且ツ合理的 = 見ユルナリ、自己ナ
 ルモノハ何人モ直接 = 考ヘル通リ 身心両方ヲ具フ之
 ノ差別ヲ基礎トシ之ノ世界カ如何ナルモノナルカヲ
 考ヘ得ル様 = 思ハル、之ハソマリ實在全体ヲ一方ハ
 身体ト同シモノ一方ハ精神的ナルモノト見ルナリ、
 即チ身心ノ別ヨリ物バノ別 = 及ボスナリ、カ、凡所
 ヲリシテ實在其物ハ = 種ノ屬性ヲ有スルト云フ事カ
 最モ普通 = 考ヘラル、事ナリ、之ノ考フ今論理的 =
 推論ハ出来居ルカ先ツ之ノ立場ヲ = 元論ト云フ、乍
 然ラ = 元論ハ論理的 = 究竟ナルモノナラス 従ツテ何
 レカ = 帰スルト云フ事カ亦 = 起リ来ル立場ナリ、
 常識的 *naive + dualism* ナリ、

其處テ、物ヲ主カ精神ヲ主トスルカ又非物非バ的一
 元論カ生ス、之カ或ハ最モ完全ナ形而上學 = 適合シ
 タ立場ノ如ク考ヘラル、結果如是キ立場ヲ異クノ者
 ハ予想シテ居ル、カ實際 = 於テハ何レカ = 傾クテ免
 カレス、又非物非バ論ハ概シテ物質的一元論 = 反対
 ノ立場カ勝レリ、何レカト云ヘハ精神的傾向アリ、
 若否ニツ = 分レザルノ立場ハ唯物論、他ハ唯心論テ
 フ立場 = ナルナリ、故 = 次 = 唯物論、唯心論トハ如
 何ナル物ナルカ、唯物論思想ハ可成古ク或ル意味 =
 於テ人ノ思想ノ根底的ナル物ナリ、ヨク人 = 引カレ
 ル *Lange* カ唯物論ノ歴史 =、唯物論ハ哲學ト同
 様 = 古キモノナリ、即チ哲學ノ初カラ唯物論的傾向表
 ハレテ居ル、又哲學ヨリモ古キモノナラス即チ哲學
 以前 = アリシ常識ノ思想ハ二元論ナリシナリ即チヤ
 リシヤ哲學ノ *Tales* カ木カラ物ノ初メナリト英ノ唯
 物論カ時ト共 = 變形シテ表ハサレテ居ル先ツ初メ =
 ハ極メテ見易クモノヲ物質ノ本体ト見或ハ木、空氣
 木等大ナルモノヲ考アルカ漸次極メテ小ナキ *Par-*
ticul 等 = 考ヘルカクナレハ物質
 ノ考ヘカ理論的 = 正確ナルモノトナリ、同時 = *at*

om / 機械的作用 = ヨリ實際 / 現象カ出来ルモノ
 = シテ感覺其 / 他精神現象タルモノモ悉ク之 / atom
 om / 機械的働キナリトス、之原 = 至リ初メテ唯
 物論カ一學說トシテ表出シタト云フヘシ、キリシヤ
 / Semolence 等之 / 派ナリ、又反対説カ出タ
 同時 = 新科学 / 研究結果ヲ取入レ如何 = シテ atom
 カ種々 / 働ヲナスカヲ詳シク説ク = 至リ益々時代意
 識 = 相当スル唯物論カ表ハレ今日 = 至レリ、例ヘハ
 / 8世紀、France / 哲人 科学者方面 = 於テ之
 / 唯物論カ評論サレタ Lаметtric ハ人間ハ機械
 ナリト云フ論カ出アタルナリ、或 / 9世紀半抵乙 =
 於テ化学者中唯物論中 = 學者同 = 説カ分レ結果多ク
 / 科学者ハ唯物ヲ存セリ、腦髓 / 働カ

即チ肝臓ハ膜ノ如シト、 / 9世紀半ヲハ Büchner
 著カ出タ

唯物 / 基礎ト長所

唯物論ハ世界ヲ物質及其 / 働キト見シモノ = シテ其
 / 根柢ハ全ク自然科学 / 研究ニ存ス、從ツテ自然科
 学ノ貫通ト共 = 斯論ハ漸次完成シ又自然科学者ノ意
 見ト一致シ得ル矣且今日尚又物質的働キトシテ説

ク得サルモノモ多少残リ居ル、例ヘハ生活現象等ナ
 リ、然シ之ヲ尚漸次物理化学的 / 働キトシテ説明マ
 シトスル試ハ既 = 行ハレテ居ル (生理学者其他医学
 = 関係アル人等ハ之ヲ試ス) 又反対論者マアリ、

Driesch 等ハ其ノ人ナリ、Mechanism /
 人 = ハ Verworn 有リ、科学者ノ大勢ハ meca-
 nism = 傾ス居ルナリ、

之ノ自然科学ト結合スルノカ一長所ナリ、今一ツ
 ハ世界ヲ一元的 = 説ク事ハ人々ノ一欲 = 尋求スル所
 ナリ、之ノ場合確立ナルハ常識的 = 云ヘハ物質ナリ
 物体トハ形ヲ具ヘテ居リ又直ク = 推論シ得ルモノナ
 リ故 = カ、ル莫ヨリ唯物論ハ最モ常識 = 云々易クモ
 ナリ、又物質界ノ法則ハ之ヲ研究結果容易 = 察見
 サルモノ = シテ之ハ余程確実ナルモノト考ヘラレ
 ルナリ、カ、ル莫ヨリ唯物論カ多數人士 = ハリ易ク
 ナリ、其他理性ノ関係等ヨリ之ノ思想カ行ハレ易
 イト云フ状態ヲ考ヘラレ、斯唯物論ハ長所又ハ存在
 ノ理由ハアルモ哲學説トシテ之ヲ究タル物ト是ルヲ
 得ス、今日一方ノ論者ハ唯物論カ真ノ見方 = シテ若
 シ反対スルヲハ哲學其物カ間違ヘ居ルナリト称ス

ル者アリ、

之ノ唯物論ハ種々理由アレト不^完全ナリ、然シ之ニ
 対スル非難ニモ亦誤アリ、最モ大ナル非難ハ道德的
 立場ヨリスルモノナリ、唯物論ハ道德的ニ説明出来
 ス又文化ヲ説明シ得サルモノナリト云ナリ、之ハ唯
 物論ナリシテ今日ノ社会問題ヲ解ス得スト云フ誤リ
 ニ等シ、凡テ学説ノ真偽ヲ見ルニハ其ノ英ヨリ論ス
 ヘノ實際上ノ影響等ニツキ論スヘキナラス若シ真ナ
 レハ道德ヲ打破シテモ真ナル事ハ破レズ、又真偽ハ
 生活上ノ効果ニヨツテ決スヘキモノナリト云フ事ト
 ハ別問題ナリ、然其他尙實際唯論ト云モ、道德ヲ洗
 淨得サルモノナラスト云フ事ニ考ヘ得ヘキナリ、唯
 物論者ノ人格カバシテ皆道德的ナラスト云フヲ得
 ス又斯論カ非道德的ナリト云フヲ得ス、唯道德説ト
 シテ不完ナル事アルナリ又斯論者ノ説ハ事実反抗的
 ナリト説ク事多キナリ、故ニ世界ニ多ク有レシ唯物
 論カ實際的ニ弊アリト見ルハ誤リニ見テナリ、又唯
 物論ヲ以テ自然科学ノ必然ノ結果ナリト見ルハ又誤
 リナリ、之ヨリシテ自然科学其ノモノカ非道德的ナ
 リト見ルニ至リテハ甚クシキモノナリ、兎角斯論ハ

道德的立場ヨリ何等難ナキモ理論上完全ナラサル英
 ニ於テ非難サルヘキ矣及シ、(1)唯物論ノ所謂物質ノ
 概念明^瞭ク^ク、常識的ニハ物質ハ分リ居ル如クモ
 之ノ概念ニ追究スルハ必スシテ然ラス、現ニ水空氣
 等ヲハ唯物論カ段々満足出来ナクナリ故ニ^モ Atom
 或ハ終極經驗ニ得サル物ヲモ物質ノ本体ト考フルニ
 至リシナリ、自然科学物理学等ハ見得ヘカラサル
 Atom トカ何トカ以テ物質ノ本体トスルナリ、
 故ニ之ノ物質ノ概念ハ一種思想上ノ產物ナリト云ハ
 カルヲ得ス、故ニ其英ヨリ見レシハ唯物論ハ案外物質
 ノ直接經驗ニヨル物トハ離レタルモノナリト云フヘ
 シ (2)次ニ又唯物論ノ説明ハ極メテ簡單ナク考ヘ
 ラル、モ^レ然^レ物質カ^ク精神ヲ説明スルト云フ事ハ及
 少困難ナリ、多クノ物質ノ現象カ同シ energy ノ
 変体ナリト云フ事ハ容易ニ説明シ得ルモ意識現象迄
 含マセル事ハ困難ナリ、其多^クニ種々想像ヲ入リ
 来タル故ニ斯論ハ案外思想推測等ヲ交ヘ、智覚感覺
 等ヨリ論セル物ナラス、故ニ斯論ハ有害危険等トハ
 云ヒ得カルモ学説トシテ完全ナラサル事ハ拒ムヘカ
 ラス(一面觀ナリ)

然ラハ之ニ対スル唯心論トハ如何、

唯心論ハ出陣英ヨリ既ニ唯物論ト正及ナリ、後者ハ
 科学の說明ノ算達ヨリ末タリシテノト云フヲ得ルカ
 前者ハ宗教道德藝術等ノ立場ヨリ世界ヲ觀察サント
 スル如キ場合容易ニ傾ク見方ナリ、即チ根本ニ於テ
 世界ハ物質ノミヲハ解テスト云フ如キ事ヲ暗ニ認メ
 居シナリ、然シ之ハ一假定ニシテ物質カラ若シ解メ
 得ルナラハ必スシテ之ヲ加ヘル必要ナシ又物質カ然
 シキモノナリト云フ事ヲ假定セラル限リ如長キ要求
 フナス必要ナシ、或ハ又認識論上ニ於テ觀念論ヲ取
 所ヨリ釋シテ唯心論ヲ取ルコトアルニ之ハ向題ノ混
 同ナリ、斯様ニシテ唯心論モ出陣英ニ傾ルハ誤解種
 バアリ、既述ヤシ如ク唯物論ノ見方カ偏シ居ル事ハ
 事實ナル故其ノ英ヨリ唯心論カ起ルス一理アリト云
 フハシ、其ノ場合ニ於テ常ニ唯心論ハ道德宗教等ノ
 精神ト多ク結合ス、哲学ハ一面智的の要求ヨリ生シ
 居ルコト他面ニハ又情意ノ要求アルコト既述ヤシ通
 リナリ、後者ヨリ唯心論カ哲学ニ於テ宜キアル事ハ
 容易ニシテ想像ナルハシ、若シ左義ニ唯心論ヲ解スレ
 ハ大体多クノ哲学ハ唯心論の傾向ヲ有スト云フテモ

過言ナラスト思ハシル、然ルニ之ノ唯心論ハ大体ニ
 類別スルヲ得、之ハ人ノ心ノ動キヨリ英推シ以テ世
 界ヲ説明セんとスル立場ナレハナリ、心ノ働キマ主
 トシテ推察シ行テ種々ヲ分ツヲ得、普通ハマ智情意
 ニ分テ或ハ後ニ者ヲ結合シ、智的、情意的働キト可
 ヤシムル事ヲ得、カルトコロヨリシテ智的方面ニ
 重点ヲ置テ唯心論ト意的方面ヨリ説クモノカ着シキ
 Contrast、フナシ、理論上情ノ方ヨリモ分ルニ得
 シト英始トフシ、故ニ智意ニ者ヲ重ニ見レハ主智的
 ト主意的ノ唯心論ニ分ツヲ得、然シス両方ニアラテ
 シテ両者ヲ含ム唯心論アルニ誤ナリ之ハ或ハ凡テノ心
 ノ見ル唯心論 (Panpsychism) アレトシ之ハ
 主智的カ主意的カ何レカニ傾クナリ (主智的ニ偏
 コト多シ) 古来多数ノ唯心論ハ寧ロ主智的ナルモノ
 ナリ、之ノ言葉ノ意味ハ及シテ一、心理ノ物、之レ
 ハ精神ノ根源ハ智的ナルモノナリ、即チ感覺表象ヲ
 所謂精神作用ノ根本ナリト云フ説ナリ、第一ニ論理
 的唯心論、論理的規則ヲ以テ本源のナル物ナリトシ、
 之カアラユル物ノ根本トナリ居ルト見ルナリ、第二ニ
 論理的主智主義、即チ道德ノ極致ヲ智的完全ニ在リ

トスル立場ナリ。完全田滿純等ハ之レニ入ル。第四
Metaphysischer Intellektuellom、之ハ
 世界ノ本体ハ智的作用ノ産物ナル概念ナリト或ハ
 又世界ノ變化カ凡テ智的規則ニ従ヒ居ルモノナリ
 ト云フ様ニ考ソルナリ、之ハ科学ノ立場ハ多少之ヲ
 矛盾シ居ルナリ然シ科学ハ *metaphysic* ナラ
 ス之ハ古来ヨク *Metaphysic* = 等テ見ル所ナ
 リ。

「心理的意志 *Wille* 等ニ対シ主意的唯心論ハ
 (1) 心理的主意主義心ノ本質ハ意的ナルモノナリ
 トイフ所ヨリ説ケルナリ、(2) 論理的主意主義論理
 作用ノ根底ニ意志作用カ働キ居ルナリ例ハ判断
 ノ底ニ *Wille*、働キアリト見ルナリ、(3) 論理的主
 意主義意志ノ働キニ道德ノ特色ヲ中メトスルナ
 リ例ハ *Activism*、倫理説等ナリ、(4) 形而上
 学的主意主義之ハ世界ハ情意ノ意志ノ発現ナリ或
 ハ世界活動ハ意志ノ働キトシテ説明サルハ論理
 的智的作用ニ制セラレストイフナリ、之ハ生ノ哲
 学等ハ皆何レモ之ニ属ス、*Bergson* 等ハ之ノ立
 場ナリ、*Schopenhauer* モ亦有名ナルモノナ

11/27(水)

リ、
 批評

唯心論ニ対シ第一辯シオコトハ唯心論カ道德宗
 教ノ要求ニ最モ適ヒ居ルテフ如ク考ヘルハ謬想ニシ
 テ之ハ唯物論ヨリ導キ来リ得ルナリ、例ハ *Bergson*
 ノ説ノ如キハ確カニ主意的唯心論ナルカ説ハハスシ
 モ *moral tone* ヲ有セス或ル点ニ藝術的、*tone*
 ヲ有ス、*Schopenhauer*、其レモ、ハシモ道德
 的色彩ニ富ムトイフハカラス、況ンヤ唯心論ヲ説ク
 者カ道德者ナリトハ考フハカラス、*Fichte*、言葉
 ニ「哲学ト性格トハ関係アリ」ト述ヘテ居ルナリ、
 然シ之ノ立場ヲ離レテ唯心論者カ高ク唯物論者カ低
 シトハ云ヒ得ス、次ニ唯心論カハスシモ正シクナ
 テフ事ヲ論スルハ色々ノ方面ヨリ得ルカ、又ヲ挙ク
 (1) 唯心論ハ今日ノ科学ト全ク矛盾セル如ク見ユル
 モ之ハスシモ真相ヲ示サス、或ル種ノ唯心論ハ嚴
 密ニ云ヒテ人心ノ働キハ自然界ノ凡テノモノニ具
 ハリ居ルテフ如キコトヲ云フハマ、空想的立場ニ
 ナルカ (*Fechner*) 其レハ一比喻トシ或ハ空
 想トシテ見レハ興味アルモ言葉通り解釈スルハ万

ト雖モ豫期セサラン。故ニ唯心論カ直チニ之ヲ以テ非科学的ナリトハ云ハ得サルモ、唯心論者ノ説ハ彼等ノ自ラ考ヘ居ル如ク完全ニ目的ヲ達シ居ルモノナラス。唯心論者ノ卓越スル点ハ最も心ノ本体ヨリ類推シテ世界ヲ知ル所ニアリ。乍然之ハ多クノ人ノ云ヒシ如ク心的活動ヲ直接ニ經驗スルコトハ其ノ心ノ本体ノ何物ナルカヲ認識スルコトトハ全様ナラス。我々カ現在種々意識作用ヲ有スルモノ之ヲ意識スルテフ事ハ別ノ働キナリ。況ンヤ何物ナルカヲ明確ニ理解セントスルコト等ハ同接ヲ働キナリ。故ニ心ノ本体ヲ我々ハ直接ニ理解シ居ルニ非ス。從ツテ之ニヨリテ推シテ世界ノ本体ヲ知ルテフ如キハ更ニ同接ナル方法ト謂フヘシ。唯心論者カ直接トイフコトヲ云フノハ充分ニ反省足ラサルナリ。

(2) 次ニ何等カノ方法ヲ心ノ働キカ完全ニ知り得タトシテモ之カ論者ノ云フ如ク簡單ナルモノナルカトウカニツキテハ疑ナキヲ得ス。或ル簡單ナル心ノ働キニシテモ之ニ伴フ物質ノ働キハ可成複雑ナル物ナルモ知ル故ニ物ノ働キカ同接複雑ナリト考フ

ルハ誤ナリ。如是キ理由ヨリ唯心論ヲ主張スル人ノ最も長所ト考ヘ居ルモノカ實ハ必スシモ長所ナラサルコト明カナリ。

乍然ニ唯心論ノ一長所ト云フヘキハ其レヲ構成スル *motives* ト関連シ居ルモノナリテフコトハ彼ト得ス。即チ斯論ハ道德的宗教的等ノ要求ト密接ニ結合シテ発達シ居ル故ソノ方面ノ理想ヲ説ク上ニ於テハ最も適當ナ見方ト云フヲ得。勿論唯物論テモ理想ヲ説カサル説テハナキモ、斯論ノ出发点ハ科学的合理的説明ノ要求ニヨリ又同接ニ迂回シテ之ノ理想ト結合スルヲ得ルナリ。之点確カニ唯心論ヨリ長ス。即チ理想ヲ解ク時ハ唯心論カ唯物論的ナ立場トナル如ク見ユ。之点ニ論ハ出发点ヲ異ニス。所テ唯心論中テ理想的、道德的等ノ意味ヲ除キ行ケハ其ノ所謂心的活動ハ唯一ニ働キテフ事ニ帰着スルモノニシテ所謂心ノ体テフ様ナ觀念トハ離シ行キ得ルモノナリ。我々カ直接ニ意識ニ上サレル心ハ即チ心ノ働キナリ。所謂 *Substantial* ナラスシテ *Actualitate* 上ヨリ心ヲ見ル方法カ最も直接ナル見方ナリ。之唯心論ノ結論ナリ。從ツテ唯物論ト比

スレハ斯論モ物質觀ヲ論究シ行ケハ漠然タル物質ノ
 本体ヨリ離レ行キ *energy* ノ働或ハ働キヲ説明
 スルニ必要ナル假定サレタ概念テフ如キ風ニナリ。
 決シテ常識的ニ云フ形ヲ具ヘテ居ルトカ把ミ易キト
 カ云フ事ト結ヒツキ居ラス。唯物論ニ所謂物質モ唯
 心論ノ精神モ共ニ作用ニシテ共ニ策外接近シ居ルモ
 ノナリ。只世界ヲ *Scientific* ニ説明セントスル
motive 来レハ唯物論ノ見方ヲ世界ニ或ル
 意味理想ヲ附シテ考フル時ハ同シ物ヲ唯心論的ニ見
 ル如キ差別トナル如ク思ハル。共ニ真ニシテ偽ナリ
 即チ或働キヲ異リシ見方テ解カネハナラナクナリ。
 多ク *metaphisicians* カ本質ソレ自身ノ働キト
 是タコトハ実ハ我々ノ見方ノ差別ヲ現ハスモノナリ
 ト云フ事ニ滞ス。即チ *meta* ノ問題ハ見方ノ問
 題即チ智識ノ問題ニシテ即チ智識哲學ノ問題ニ滞着
 スルナリ。

自然ノ *Process* 問題 之レハ今一ツノ重要同
 題ナリ。

✓ 第四項 實在ノ過程

一元論ヲ取リテ實在ノ唯一不動テフ事ヲ極端ニ固
 執スル者ニ非サル限りハ事實現象カ変化スル事ヲ認
 メサルヲ得ス。假ニ雜多変化カ *Appearance*
 ナリトスルモ鬼ニ角之ヲ成々ハ經驗シ居ル故何等カ
 ノ方法テ説明スヘキナリ。其處ニ一元論中ニ多少多
 元論的要素カ取入レラレル必要ヲ生ス。之ノ場合ニ
 於テ変化或作用。或 *process* ヲ如何ニ説明スル
 ヤカ之ノ問題ニ對スル解答ノ分岐点ナリ。即チ其レ
 ニ對シ特別ナル意味ヲ附シテ解スルカ或ハソノ儘ニ
 説明スルカテフ説カ生ス。後者ニ於テハ即チ甲現象
 ニ對シ乙現象カ連ツテ来ルテフ必然不変ノ關係アリ
 即チ因果的關係アリト主張スルコトニナルノテアル
 カ之ノ場合ニ於テハ世界ハ *machine* ノ如キ物
 トナル。如是キ見方ヲ *mechanistic answer*
eumen 機械觀トス。然ルニ原因ヲ溯レハ限リ
 ナク。結果ヲ尋ネレハ又終ル所ナシ。普通科學ニ於
 テハ中間ヲ(無限ノ因果關係中ノ)取リテ研究スル
 故問題ハ起ラス。然ルニ哲學ノ如ク全体ヲ研究セン
 トスル如キ事ヲ揚言シ得ルモノハ因果關係ニ或ル一
 局限ヲ置カサルヘカラサルカ如キ觀ヲ呈ス。故ニ古

末第一原因ヲ立テ、之ノ中ニハ結果ノ終局カ豫メ含
 マレ居ル如ク考ヘラレテ居ル。之ノ終局ノ結果ヲ見
 ル場合ニ於テハ之ヲ目的ト考ヘル。如是シテ唯事實
 トシテ現ハレ居ル変化ノ中ニ或ル第一原因ヨリ生ス
 ル力カ或ル目的ヲ達スルタメニ種々ノ働キヲ呈スル
 テフ解釈カ生シテ来ル。換言セハ世界ノ変化ハ第一
 原因ニヨリテ統御サレ居ルモノテ終局目的ヲ定ムル
 手段ナリト考ヘラル。如是ク特別ナル意味カ附イテ
 来ル。之ヲ自然觀 *teleology* ト云フ。大体ニ於
 テ前者ハ唯物論ト結合シ後者ハ唯心論ト結ビ付クハ
 想像ニ難カラス。之ノ二見方ハ夫々色々ノ分歧アレ
 ハ。極端ナル機械觀ハ因果關係ヲモ証明スルヲ得
 サルニ至リ。又極端ナル目的觀ハ我々ノ經驗ニ一致セス
 之ノ兩者ヲ適當ニ解スレハ機械觀ノ基礎タル因果律
 ハ一種ノ統一上ノ必要ヨリ生セシモノニシテ其ノ点
 ニ於テ自然觀ノ立場トマ、一致スル所アリ。自然觀
 ト雖モ因果關係ヲ全ク無視スルヲ得ス。之ノニツノ
 見方ハ結局同事實ヲ異ナリシ見方ヨリ解セシ物ト見
 ルヲ得。之点ニ於テ之レハ他ノ場合ノ如ク實在其ノ
 物ナラスシテ實在ノ見方ノ問題トナル。從ツテ純粹

ノ形似上学ノ問題トイフヨリハ他ノ点ヲ豫想シテ居
 ル。

機械觀 - 唯心論
 自由 - 1115

本論

第一章 智識哲学ノ概念

第一節 形似上学ト智識哲学

上ニ達ヘシ如ク *Metaphisik* ヲ超越的實在ノ学ナリト解スレハ、ツマリ如斯キ實在ソノモノニツキテ色々ノ解釈ヲ施シ *theory* ヲ作ルモノナルコトヲ豫想スヘシ。今迄ノ形似上学ハカハルモノナリ。依リニ之ヲ内容ノ方ヨリ實在ヲ分割シ細目ヲ与フレバ、例ハバ、神、靈魂、自由等ノ問題ト云フ風ニスルヲ得。或ハ今少シ他面ヨリ見レハ神ト *Welt* トノ問題ト云フヲ得。又或ハ之ヲ一般形式ノ方ヨリ見レハ實在ノ本質、屬性、過程ヲ三問題ニ帰着スルコトガ出來ル。所テ形似上学者カ之等ヲ論スルニ当リ何レモ皆初メカラ如是キ實在ヲ假定シテ居ル。而シテ之ノ實在ニ関スル智識ハ全ク其ノ實在、其レ自身ニヨリ制約サレ居ルモノナリト見ルナリ。即チ我々ハ *passive* ノ状態ニ或ハ實在ソノモノガ *active* トナリ得ル居ルナリ。

斯様ニ實在ノ働キヲ初ノヨリ何等ノ *reflection*

ナシニ証明シ居ルモノニシテ其實之レハ *Dogmatische* ナリ。然ルニ既述セシ如ク之ノ實在及ヒ屬性、假定等ニ関スル問題ハ何レモ結局實在其ノモノノ問題ナラスシテ實在ニ関スル我々ノ見方ノ問題ナルニ外ナラサルヲ知レリ。之ハ今一般形式方面ノ問題ナルガ推シテ行ケハ内容ノ問題モ亦之ニ準スルト見ルヲ得ル。即チ其意義ハ結局實在ノ学即チ *metaphysik* ハ實在ノ認識ノ仕方ニヨリ制約サレルモノナリ。即チ我々ノ知識ニ或ル *active* ナルモノヲ假定シ承認シ居ルナリ。故ニ之ノ点ヨリ云ハハ實在即チ物ノ働キテフ如キモノヲ我ト無関係ニ決定スルヲ得ルテノ如キ即チ *dogmatische* ノ態度ニ反対スルモノト云フベク、此ノ点ニ於テ *Kritische* ノ態度カ現ハレ来タルナリ。

Dogmatische, Kritische, Skeptische ノ三者ハシバシバ見ルトコロニシテ、大体ニ意味ガ確定サレ居ル ^{*Dogmatische*} *Skeptische* ハ大体不完全ナル者トナル。之ハ Kant ノ解釈ニヨリテ確定サレシ如キモノ、彼ノ使用法ハ以テシモ原義ニ一致シ居ルモノトラス。

Dogmatismus ハ Dogma ヨリ来ル。
 Dogma ハ定説。即チ Dogmatismus トイフハ
 或定説ヲ律スル立場。 Skepticism ハ δΚΕΛΡΟ
 Σ ヨリ出ツ。之ハ探究テフ意味ナリ。カク觀スレバ必
 スシモ誤レルモノナラス。之ハギリシヤ末期ノ疑懐
 論者ニヨリ明カニ説カル。 Sextus Empiricus
 / Pyrrhoneae Institutiones ニ次ノ記アリ
 哲学者ノ最モ一般的ナル差別

或ル事物ヲ探究スル者ハ恐ラクハ発見ニ至ルカ。
 或ハ発見ヲ拒斥シ到達シ得サルヲ告白スル様ニナル
 カ。或ハ探究ヲ持續スルテフ態度トナル。故ニ今

ニ於テ探究サル。物ニ関シテモ或ル者ハ其レカ真
 ヲ発見シ得タリトナス。他ハ真ヲ捕捉スル事ハ不可
 能ナリト。又他ハ依然トシテ真ヲ探究スルナラント。
 発見セリト思ヘルモノヲ Dogmaticos ト云フ。
 Lehrphilosophen Aristoteles, Epicurus
 等 Schola 派ナリ。

捕ヘ得ストナス者ハ Carneades,
 Carneades 其他 Academy 派ノ人々。
 依然トシテ探究スル者ヲ Scepticos ト云フ。

如斯ク三ツニ分ル。(第一、Academyer ハ
 中期ノ懷疑主義ナリ。)

Skeptic ノ立場ヲ一言ニ云ヘハ、第一 Suchen
 的ナリ。第二ハ Zurückhaltung、抑制的
 第三ハ Unentschieden、不決定的、第四 Pyrrhoneae 的ナリト。カ
 カル意ニ解スレハ Dogmatic モ Skeptic、態
 度モ各々取ル所アリト云フハシテ然ラ單独ニ見レハ
 共ニ哲学ノ精神ニ反スル結果トナル。即チ定説ヲ立
 ツルニ急ニシテ之ニ對スル充分ナル探究ヲ怠ル。事
 ハ學トハ異リ来ル。又絶エス探ス事ノミテ結論シ出
 サザルハ學ニ負ク。故ニ兩者ヲ結合スル方法ナカリ
 セハ一方ハ固定シ。一方ハ自滅ス。實際ニ於テ兩者
 ノ立場ヨリ出發セシモノハ如是結果ニ陥ル。之等
 ノ態度カ批難サレル点ニシテ Kant ガ批評ヲ試ミ
 シ所以ナリ。Kant ハ之ヲ一般的ニ方法論的ノ使
 用法ノ上カラシテ之ヲ批評シテ居ル。之ハ純粹理性
 批判。第一版ノ著言ニ出テ居ル有るナル言ナリ。即
 チ凡テ論究セントスル事柄ニ付テ直チニ其レニ葛進
 シ行ク者ハ独断的態度ナリ。之ニ反シ一度認識ニ欠
 点アレハ盡ク認識力ノ働キヲ信セサルニ至ル態度ヲ

懷疑的態度トス、故ニ獨斷的ニ專制的ニシテ、懷疑主義ハ *anarchy* ナリ。眞ノ性質ニ込入ルテフ態度ハ他ニアルヘシ *Kritische* ノ態度ヲ導ケルナリ。即チ之ノ解釈ニ依レハ獨斷的懷疑的トイフノハ智識其モノ研究ヲ忘ル、事ナリ。之ニ對シ批評的ハ智識ノ研究カラ始マルナリ。(智識ハニツアリ、客觀的ニ智識ノ結果ト之ヲ出ス働き。即チ能力ヲ意味スルナリ)斯ク智ニ関スル 問題ヲ第一ニ見ルノガ之ノ立場ニシテ、之ガ *metaphisic* ヲ新方法ニ轉ゼシムル道ナリト云フヲ得。然スレバ形似上学ハ批評的ニナルテフ事ハ即チ知識ノ研究ヲ前提トシテ進ミ行クテフ凡ニ解釈セサルヘカラス、之ノ点形似上学ガ智識哲学ニ入ラサル可ラサルヲ示ス。

智識一般ノ問題。

智識哲学ハ言通り智識ニツキテノ根本的研究ナリ、之ガ哲学中如何ナル地位ヲ占ムルカハ序論ニ於テ述ベシ所ナリ。之ノ智識テフ言葉ハ如何。智識トカ認識ハ結局同シ事ニシテ 認識ハ働キノ意ニシテ智識ハ今迄ノ習慣テハ然ラス、之ヲ *product* トスル、乍然ラ之ヲ流用スルヲ得。

之ノ智識ノ研究スルテフ事ニ對シテハ色々ノ問題ヲ具フ。即チ之ノ智識カ如何ニシテ生スルカ又知識ヲ生スル働即チ認識作用ノ要素如何テフ如キ問題カ伴ナフ。之等ハ後ニ述フル如ク一部 *psychology* ノ問題ニシテ智識哲学主要問題トハナラス之ノ問題ノ主要問題ハ知識ノ可能テフ問題テナケレハナラス。即チ如何ニシテ知識カ生シ得ルカ。カク云ヘハ当然正シキ或ハ眞ナル智識テフ意味カ起キテ来ル。其以上ハ又正有眞偽ヲ分フ標準ノ成立スルコト、ナル。從ツテ其等ノ問題カ共フテ現ハレテ来ル。之ノ点ヨリ問題ヲ広メルヲ得。然シカク問題ヲ広ゲル前ニ顧ミレハ知識ノ可能ハ果シテ問題タリ得ルヤテフ事カ考ヘラレ、此ノ知識ノ可能ハ事實トシテ凡テノ人ノ承認シテ居ルコトナリト云ツテ可ナリ。然シ其ノ理由ハ必スシモ凡テノ人ノ知ルコトナラス、又或場合ハ問題トシテ現ハレ居ラス。凡テノ知識ハ本ヨリ之レヲ豫想シテ成立ス。乍然ラ之ノ事ヲ特別ノ問題トシテ研究スルコトハ敢テセス。故ニ若シ之ノ問題ヲ研究スル必要アルナラバ之ハ別ノ特殊ノ學タルヘキナリ。此處ニ智識哲学ノ存在スル理由カアルナリ。

之ノコトニツキテハ色々ノ説アレトモ *Fichte* ノ言ヲ借レバ:— *Fichte* ハ知識学ヲ (*Wissenssach-
aftsklehre*) ヲ提唱シ哲学ニカヘ或ハ其モイテラシメントセリ。而シテ1794年 *Begriff Der
Wissenssachftsklehre* ニ於テ之ノ必要ヲ説ケリ。之ノ知識学ハ必スシモ今日ノ知識哲学トハ同シカラサルモ出发点ハ同シナリ。凡テ学ハーツノ体系的形式ヲ有スヘシ即チ其中ニアル所云命題カ唯一ノ根本命題ニ結合シ— *ganze* ヲ構成スヘシト。然シ其如何ナル *ganze* テモハ其レテ必スシモ学トナルヲ得ス。其処ニ确实ナル *grund satz* ノ確立ナカルヘカラス。之ノ确实ナル *grund satz* ヨリ凡ユル命題カ确实ニ導キ出サル、時确实ナル学的知識カ出来ル。之ノ関係ヲ証明スルモノハ *Wissenssach-
ftsklehre* ナリ。其ノハ其モイモヤハリーツノ学デナカルヘカラストスレハ、之ノハモヤハリ一中心ノ根本命題ヨリ确实ニ種々ノ命題カ推論サレルテフ如キ形ヲ具ヘ居ラサルヘカラス。其ノ構成ヲ細カク論シ居ルナリ。 *Fichte* ノ考ヘテハ之レコソ今迄ノ哲学ニ代ルヘキモノナリト。之ノ *Fichte* ノ云

フ知識学ハ故ニ種々ノ学的知識ノ根柢ヲ説クモノニシテ、自ラ又学問ノ模範トナルコトヲ示セリ。之ガ同時ニ哲学ノ全部若クハ最も重要ナル部分ヲ占ムルモノト考ヘラル。 *Fichte* モ亦如斯キモノハ如何ナル学モ暗ニ承認シ居ルモノナレド特ニ証明シ居ラズ故ニ特別ナル学トシテノ存在ガ必要ナリト説ケリ。

如斯ク知識ノ研究ハ一哲学問題ニシテ之ハ同時ニ種々ノ学問ノ基礎トナル。従ツテ他ノ部分ニ対シテ基礎タリ居ルト云フヲ得。我々ハ前ニ哲学ヲ文化、智識哲学ニ分ケシガ、其時ノ智識哲学ハ文化ニ対シテ居リ同時ニ基礎トナルコトヲ述ヘタ。如斯キモノナリト考ヘテ之ノ問題ヲ論セン。如斯ク智識哲学ノ存在ハ承認サルヘモ、如是キモノ果シテ必要ナルカ、又實際考究サルヘモノナルカニ対シ尚疑問ヲ有スル者下リ。之ニ対シ豫メ考究セン。

知識、認識テフ事ハ一事實ニシテ之ニ対シテ何等疑ヒヲ差シ執ミ得スト信スル者アリ。智識哲学ヲ説ク者ハ之等ニ対シテ非スル必要アリ。第一、如何ナル点ハ問題タルヤ、認識ヲ云ヒ換レバ、我或ルモノヲ認識スト云フコトナリ。之ヲ分析スレバ、認識ス

ル我、サレル或ルモノ (*das erkaunte etwas*) = 分ル、其ノ兩者ノ綜合 = ヨリ認識が生ズ。然シ之ノ働キハ我意識内 = 起ルモノナリ。其ノ限リ = 於テ主觀的ナルモノナリ。之ノ働キガ果シテ他人ノ働キト一致スルカドウカ、或ハ此ノ働キニ依リ果シテ物ノ真相ヲ知り得タト云フヲ得ルカ否カニツキテハ尚疑問アリ。即チ換言スレバ主觀的認識作用カ客觀性ヲ意味スルカ否カラ未ダ假カ = 決定シ得ズ。要スルニ認識ノ意識ヲ超越セルコトガ果シテ確實ナルカ否カガ問題ナリ。此知 = 智識哲学ノ根本問題ガ存スルガ、之ニツキテハ反対スル者アリ。

Volkeit, Erfahrung Denken = 於テ反対説アリ。人、或ル人ハ我々ハ客觀的認識ノ可能ヲ研究セズトモ既ニ色々ノ普遍的原理ヲ含ムトコロノ經驗的科學ガ一般ニ承認サレテ居ルテ事實 = ヨリテ見レバ既ニ何等カノ認識ノ存在ヲ知ルコトガ出来、之ニ關スル疑ヒハ不必要ナルヲ充分証明シ得ト之レニ對シ之等ノ原理ハ果シテ人々ノ間ニ毫末モ、或ハ殆ンド疑ヒ得サルモノナルカ否カ、ヨシ然ルトスルモ既ニ自ら客觀的認識タルヲ得ン。之ニ反シ人

ノ觀念ノ組織ノ中ニ一般ニ迷ヒト思ハル、モノヲ含ミ居ルコトナキト云ヒ得ズ。

一般ニ承認サレテ居ルト云フ内ニハ既ニ我ノ外ニ多クノ主觀アルヲ豫想スルコトナリ。之等ノ *Subject* ガ自分ノ觀念以外ノモノナリトイフコトハ認識デハ然ル如キモ証明サレ居ラサルコトナリ。之ノ点ヨリ論者ノ曰フハ不可ナリ。

二、曰ハク、認識ハ現實ニ現ハレシモノト附合スルモノヲ云フ。カハル認識ハ論議ヲ要スルテ真ナリト云ヒツベシト。之ニ對シ論点ハ現實ト一致スルテ意味ニ在ルナリ。如何ニシテ認識ヲ現實ト比較シ得ルカ、比較トハ我が意識的ノ作用ナリ。故ニ之ノ比較スル場合ニ意識ニ表ハレタル主觀ハ *Subjective* ナリ。而スレバ主觀的ナル認識ト主觀的ナル實在トガ一致スルハ当然ノコトニシテ之ノミデハ新シキ説明トハナラズ。

三、我々ノ豫慮セシ經驗ガ實現センコトアラバ其ハ論証ヲ待タスシテ其場合ノ知識ガ單ニ、主觀的ナラザリシコトヲ知ルト。然シ所云後 = 起リシ經驗的事實ガ何故ニ主觀的ナラザリシコトヲ我々ハ知り

得。ヤ。若シ之レが証明ナカリセバヤハリ意識内ニ於テ豫處シタロトが意識内デ起リシコト、ナルノミ、斯様ニシテ彼ハ三問ニ答ヘテキル、而シ尚之ニ対シ依然反對アリ。著名ナルハ Hegel、其ナリ。Hegel、智識哲学ニ対スル見解ハ *entickropede*、第10節ニ出テキル、極メテ著名ナルモノナリ。Kant 派ノ批評哲学ノ批評ヲ述ベタリ、之等ノ批評哲学ハ從來ノ形似上学ガ神等ヲ認識セルニ先立テ豫メ認識能力ヲ調べ果シテ如是キ認識ヲ為シ得ルヤ否ヤヲ述ベザル可ラズ然シ共ハ丁度器具ヲ用フルニ先立テ之ヲ檢スルト同様ナルガ、器具ヲ調ヘル時ニハ之ヲ使用シ見ルベシ。トコロデ認識研究ハ認識ヲセサル可ラス、然ルニ認識ヲ研究スルニ先立テ之ヲ認識スル故ニ游泳ヲ學バズシテ水ニ入ルト同様ナリト。之レニ対シテハ勿論 Kant 派カラ種々ノ答弁ヲナシ得レドモ、今之レハ述ベズ。

例. *Wunderband* ガ説クトコロニ依レバ、之レニ対スル答弁多クアレド之皆誤リ居ルナリト。例ヘバ或ル人ハ認識ハ一事實ナリ、學ハ凡テ凡ユル物ヲ説明スルモノナリトセバ結局カ初メニ於テカ事實

トシテノ自分、或ハ自分ノ働ヲ説明スヘシ、故ニ認識ノ働キハ成立スヘシト、即チ理学ガ生活ニ対スル様ニ認識論ハ *Wissenschaft* ニ対シテキルト之ハ本当ノ答ナラス、蓋シ認識ガ事實ナリト仮定セバ其ノ上ニ更ニ之ノ可能性ニ対スル詮索ハ要セサルニ至ラン。論者ノ云フ如ク認識論ハ認識ノ生理学ナリテフ如ク解スレバ之レハ認識ニ関スル心理研究或ハ *metaphisik* ナリ、之レハ初メニナスベキモノナラスシテ智識ノ終リニ来ルベキモノト考フト、*Wunderband* ハ批評セリ、故ニ認識論ニ於テ出發シ居ル認識論ハ現ニ認識ヲ有シ居ルテフコトデハナクシテ之ノ認識ヲ *Wissenschaft* トシテ持チ居ルテフ事ヲ要求スルトコロノ事實ナリ。其ノ事實ヲ仮定シ之ノ要求ガ果シテ正ナリヤ否ヤヲ研究スルナリ、即チ認識論テフモノハ事實ヲ説明スルニテラズ、或ルニ要求ノ正否ヲ批評的ニ探究スルナリ、如之キモノハ *metaphisik* ニモ、其他ノ心理学等ニモ説カレ居ラズ、然モ之等ノ前提トシテ説カルベキモノナリト、之ニヨレバ他ノ人ガ認識論トシテ説キ居ルモノハ中ニハイライナイトコロアルニ至ル、又

或ハ *Wunderband* / 説ニ居ルコトデモ純粹ナル
モノヲラスト云フ者ナリ。其著ノコトハ今之ヲ問ハズ之
即チ我々ノ云フ知識哲学ノ問題ナリ。Hegel ナドノ
考ヘルトコトヲ多少異ル立場ニ在ルヲ示シ得ルナリ。然シ
尚之レニツキ、然ラバ智識哲学ト心理学ト没交渉ナリ
ヤ否ヤ。之ハ實際問題ニツキ説ク時ニ云ハシ。

要スルニ、智識哲学ハ古來論理学ナル名デ以テ示
サルモノト、新シク認識論テフ名デ呼バレ居ルモノ
トヲ線籍セルモノナリ。

論理学ト認識論トノ關係ヲ次ニ究メン。

第二節 論理学

論理学テフ言葉ハ頗ル曖昧ナル言葉ナルガ、其ノ
言葉テ認識論ヲ含ム事モ出来進ンデ (*Metaphisik*)
モ之ノ中ニ含マシムルコトヲ得。之等ハ最も普通ナ
ル用ヒ方ハ所云形式論理学ト云バレ居ルモノナリ。

之意味ニ解スルトキ論理学ハ早クヨリ組織完備シ居
テ、殆ンド發達改良ノ餘地ナキガ如ク考ヘラル。之
ノ事ニツキ Kant モ既ニ説イデ居ル。即チ論理学
ハ古クヨリ確カナ少ク形リ *Aristoteles* 以來一步

ヲモ退ルヲ得ス。本ヨリ之ノ中ヨリ必要ナラザル点、
ヲ除キ去リ、或ハ明瞭ナラシムル如キ改良ハ出来ル
ケレド、之ハ飾ニシテ、然モ亦一方ヨリ見レバ今ニ
到ル迄一步ヲモ進ハ事モ出来ズ、即チ殆シク完備セ
シガ如シト。乍然ラ之ニ対シ及対ニ居ル者アリ。

Bradley (言ニ *Principle of Logic*)
論理学ハ今英独ニ於テ常ニ變動シツ、アリ。而シテ
在ツタ所ニモ在ラズ。又在ル所ニモ止マリ得ズト、
所云伝説的論理学ニハ大ナル變動ナキガ如キモ、根
本学説ニハ之有リ、中ニハ形式論理其物ヲ排斥スル
者モアリ。英 *Siller* 等アリ。乍然如是キ物ハ論
理学ノ概念及問題ガ充分明カナラザル故ナリ。形式
論理学ハ必ズシモ古代ノ組織以前ニ出得サルニ非ル
モ其自身ノ組織ヲ有スルモノニシテ、之ヲモ攻撃ス
ルハ結局知ニ因スル外ノ研究ヲ論理的ニ望ム故ナリ。
即チ知識哲学ノ全部ヲ論理的ニ求メルガ故ナリ。故
ニ先ツ此学ノ意味範圍等ヲ明カナラシムルコト必要
ナリ。

沿革 *Logik* ノ *Logik* ヲ論理学ト云ツテ、
之ノ *Logik* ノ定マリシハギリシヤ時代ナリ。

Aristoteles *clea* / 先祖ヲ以テ我ラカ
Logic / 先祖トセシカ^カ然ラ未ダ本當ノモノナラ
 ス *Platon*モ説ケルガ組織的ニハ説キ居ラズ、マハ
 リ *Aristoteles*、時ニ於テ説カレシモ、今日
 ノ根源ナリ、其ノ中ニモ *Analytica priora* /
 形式ヲ説キナリ、之ノ *Analytica priora* = 在ル推
 論式ノ論ガ *Stoic* 派及ヒ其他ヲ通シ中世ノ哲学者ニ
 重シク傳説的論理トモ稱サル形式論理ハ之ヲ根トシ
 テ居ルナリ、*Aristoteles* / *Organon* ハ各
 問題ヲ可成広ク論ジ居テ 推論形式ノミナラズ
 知ヲ得ル方法等モ論ジテ居ルナルガ、中世ニ至リテ
 ハ推論ノ形式方法テフ事ヲケラ主トシ、原理ノ方ハ
 餘リ説カズ、又得ル方法モ述べ居ラズ、其処デ之レ
 ニ對シ不満ヲ感スルモノアリテ、近世初メニ至リ自
 ラ真理ヲ探シ古人或ハ宗故ノ説ニ往ク事アリ、智識
 ヲ得ルヲ懲セザルニ至リ、斯ク新ナル論理ガ起ルニ
 至ル、之処ニ種々ノ科学者ガ自己ノ方法ヲ指出セシ
 ガ、其中英ノ *Beckon* / *Horum Organon*
 ナリ、之レ即チ後世ノ *Inductive Logic*
 ナリ、然シ之ノ外ニモ多少試ミテ居リ、殊ニ伊。

Galilei ハ方法論ヲモナセリ、之ノ *Beckon* 歸省
 法ヲ更ニ完全ニシテ *Aristoteles* / 論理学ト結合
 シ新論理学ノ *System* ヲ作り出セシハ *J. S. Mill*
 ナリ、之ノ *Mill* / 出ヅル前ニ多少 *Aristo* / 論
 理学ノ 事アリキ、*Whateley* ガ *element*
of Logic ヲ書キ *Aristian logic* ヲ研究シ
 タルナリ、*Mill* ハ之等ヲ大成セシナリ、其ノ内ニ
 歸省法ニ或ル方法論ノ関係等ハ尚其他ニ於テ多少展
 更アレド *Mill* / 定メシ方向ニ從ツテ多少研究ヲ
 進メテ居ル、斯様ニシテ *Aristoteles* 以外ノ論理学ノ
Cose ヲタドリ居レド、之ノ外ニ関連シタモノガ存在スル
 近代ニ於ケル哲學的論理ナリ、英 *Boole* ガ代數的
 論理学ヲ述ベテ居ル、認識学ノ推論式ヲ代表ノ學式
 ノ如クニシテ主ニ大體ナリ、之ノ後 *Schlegel* /
Wundt 等モ之レヲ取レリ、^{四段} 逆ニ數學ニ於ケル論
 理派ナリ、然シ事實ニ於テハ之レハ形式主義ノ徹シ
 タモノナルガ實際上ノ意味ハ少ク如ク思ハル、
 (1) 一^逆數學ヨリ論理ニ入ラントスル者モアレト之ハ
 (2) 一^逆形式論理中ニ於テ理智的ノ内容的ノ
 ナキニシモアラズ、之ノ場合時トシテ *pure*

formal

formal. ナル物ト *Seninorm* ナ物トニ分
ル. *Kant* / 理性排靈中一方ニ於テハ徹底シテ
R. ヲ説ルト共ニ *Transcendental* 論理学,
如キ物ヲ設ケ説論セリ. 此中認識論ノ問題ヲ論証セ
ントシテ居ルナリ. 故ニ *formal* ナル物ハ漸次
形式トナルト徹サレテ居ルト同時ニ他ノ名ヲ以テ説
キ居ルナリ. 斯様ニ認識カ多少決定シタト同時ニ抵
張シタト云フコトニナリ居レル故. 之ノ外尚又最近
普通論理学ハ思惟ノ形式即チ主観的方面ノ説明ガセ
ラレテ居ル. 之ノ対象タル客観的方向モ考フマシト
見ル者アリ. 即チ対象論理学 (*gegenstand-*
Logic) 或ハ客観的論理学ト云フテモ可ナリ.

論理学ノ解紙ハ論理学者如何ニヨリ具ル 可成強
ク見. 或ハ専ラ應用的方面ニ関スルノト否トアリ.
例ハバ *Hegel* ハ論理学ハ推理ノ術. 或ハ学ナリト
云ヘリ又 *Tombson* ハ之レハ思想方則ノ学ナリ
ト. 之レニ対シ *Hamilton* ハ思潮トシテノ思想
方則ナリト. 之ノ兩者ヲ比較スルニ範圍異ル. 前者

ハ極メテ一部分ナリ. *Aristoteles* / *Analytika*
priora / 方ヨリ説クモノテ 思想形式等ヨリ説
カル 思想的ナ處ヨリ出テ来ルナリ. 之等ハ大體
論理ニ重キヲオクモノナルガ之ニ対シ異リ居ルハ
mill ナリ. 彼ハ全ク研究ノ方法ヲ詳スルモノト
見ル 真理追究ニ於ケル人間悟性ノ論ニテ論ズルモ
ノナリト. 然シ之レハ中心トスル所ノモノハ稀細
ナリ. 之レニ対シ *Kant* / *transcendental*
logic ヲ其程ナラズトモ新論理ノ中ニハ今ノ超
格的方面ヲ説クモノアリ. *Tombson* /
Hamilton 等ノ定義等ニ現ハレシ思想ヲ進
行ケバ如是ナル. *Bosanquet* ハ智識ノ
形態ヲ論ズルモノナリト云ヘリ. 之等ハ原理的或ハ
哲学的ノ物ニ興味ヲオクモノナリ. 更ニ進ムバ
Hegel / 其レノ如ク形式ガ同時ニ内容トナリ来ル
ナリ. 之等ヲ比較シテ見テ大體カノ定義ヲ得.
“論理学ハ思惟其モノノ規範的方則及機能的 *form-*
ノ学ナリ” ト云フ意味ニ取ルベシ. *Hegels*
第一ニ論理学ヲ学ナリト説ク然ルニ古来 *Art*
ナリト言フテ居ル. ガ然ラズ又 *Kunst lehre*

ナリト言ツテ居ル者モアルガ。之レマデ云ハズトモ
Wissenschaft デ可ナリ。次ニ *Denken*
 テフ言葉ヲ用ヒルノハ。論理学ノ問題ハ広義ノ知ノ
 一部ナルコトヲ意味シテ居ル。知識ニハ感覺、知覚
 等直接事物ニ接シ居ルモノモアリ。或ハ凡テノ物然
 カモ知レザルモ。然シ知覚等ヲ多少抽象シ得ル部分
 モ亦考ヘラル。之即チ *Denken* ノ領域ナリ。
 然シ思惟ヲ實際ニ用フル時ニハ必ず何等ノ事物ニ関
 係サス。然シソノ材料ヲ離レテ思惟其物ヲ一作用ト
 シテ考フルヲ得。之即チ *Denken als*
Denken, 或ハ *Denken an sich*
 ナリ。之ノ *Denken* ト *formal* ノモノナリ。
 ト云フヲ得。論理学ノ思惟ハカ、ルモノナラザル可
 ラズ。之ニツキ屢々論議起ル。即チ内容ヲ離レテノ
Denken ノ形式テフモノハ事實在セズ。而シ
 テ論理学ガカ、ル形式ヲ説クナレバ最早成立セズト
Denken ハ対象ヲ離レテハ無意味ニシテ。之ナ
 クシテ思惟ノ性質ヲ定メ得ズ。之ニ対シ形式論者ハ
 事実トシテ兩者結合シテモ形式ヲ離レテハ研究シ得
 ストハ云ヘナイ。如何ナルモノニ対シテモ同様ニ当

テハマルトモ云ヒ得ル。之レニツキ *Trendenbury*
 ト *Dröbisch* トノ間ニ有名ナル議論起レリ。
Dröbisch ハ *formal logic* ヲ説ケルナリ。 *Trend-*
enbury ハ *Hegel* ノ論ヲ排シ又一方 *Dröbisch* 如キ
formal logic ヲ排シタルナリ。最近ニハ形式内容
 トガ嚴ニ區別サル、ニ至レリ。
 模範的形式トハ *formal* ト *Denken* トハ既ニ
 之レニ含まレ居ルモノナリ。一般ニ事物ヲ考フル時
 多クノ人が用フル模範タルモノナリテフ意味ナリ。
 規範的方則ハ。自然方則。説明方則ニ対シテカク
 アルバシテフ事ヲ規定スルモノナリ。即チ *Sollen*
 ノ方則ナリ。之ノ *Sollen* ノ方則ヨリ思惟ノ運用
 法が出ル。所云思惟ノ術ハ之ノ應用ナリ。
 斯ク定義セバ論理学ノ主問題ハ思惟ノ学ニシテ思惟
 ヲ成立スルモノト考ヘ。之ノ最も正シキ形ヲ
Bestimmen スル事ヲ *Aufgabe* トシテ居
 ル物トスヘシ。広義ノ智識ノ研究ニ対シ之レヲ整理
 スル所ノモノナリト云フヲ得。智識ノ成立又ハ正当
 ナル事ノ約束ガ果シテ真ニ正当ナリヤ否ヤ。或ハ一
 歩進ンデ云ハバ可能ナリヤ否ヤノ問題ハ論理学ニ於

テハ豫メ仮定シテ敢テ問ハザルナリ。

第三節 認識論

認識論ハ大体ニ於テ論理学ト同範圍ニ屬スル爭柄ヲ問題トス。思惟知識等ヲ論ズル故ニ古來論理学ノ中ニ含マレ居タ。モ云フヲ得。又 *metaphysik* 中ニモ暫々含マレ居タリ。例ヘバ *Aristoteles* ノ形似上学ハマハリ之ノ問題ヲ説ケリ。

之ノ学ノ研究ガ一獨立領域ヲ以ツテ考究サレル事ノ明カニナリシハ近世 *Kant* ヲ以ツテ初メトスト云ツテモ過言ナラス。但シ *Kant* 以前ニ溯リ見ルニ *Locke*、*Hume* 等ノ所ニ存在シ居タト見ルコトヲ得。 *Alois Riehl* ノ研究ハ *Locke* ニ初マル。(故ニ哲学問題トシテハ多少限ラレ。通ク初マリシ問題ナリ) 然シ *Kant* ハ *Locke* ハ問題ヲ同キシモ混同シテ居ルト云フテ居ル如ク *Kant* ニ至リテ明白トナリシナリ。最も重要視サレシハ *New Kant* 派ノ人マニヨリ初マル。然シ、之ノ説ニ對シテモ異論多ク生ズル如ク。之ノ論ハ確定シ

タモノニハ非ザルナリ。今ソノ言葉ノ意味ヲ第一ニ定ムベシ。之ニ當リ問題トスベキハ之ノ言葉ハ何時ヨリ初マリシヤト云フコトナリ。意味ハ *Kant* ニ初マルト云フヲ得。(evidens theory) 之ノ問題ガ盛ナリシハ *New Kantianer* ニ初マル *New K.* ハ 19 C. ノ中葉ニ於テ。其以前ノ大哲学ノ *System* 即チ *Hegel*、其レガ倒レ自然科学ガ從來ノ哲学ニ代リ哲学ガ表徴シ居シニ對シ、哲学方面ヨリ更ニ新運動起ル。 *Hegel*、哲学ハ *metaphisik* ハ本當ノ哲学ナラス。哲学ハ 18. C. 末ニ *Kant* ガ述ベシ如ク科学ヲ無視シ居ルモノナラズシテ寧ロ科学ト結合シ之ヲ批評シソノ基礎ノ確定ヲ任務トス。即チ一般ニ知識ノ性質ヲ明確ニスルノカ重要ナル問題ナリト。故ニ *Hegel* 其他ノ *metaphisika*、如ク科学ト分離セサル所ニ真ノ哲学ノ道アリト。斯様ニ科学ノ盛ニ行ハレ居ル時代ニ之レト西立スル。ヲカマントセシナリ。此ノタメニハ再ビ“*Kant*ニ歸ル”テフ言葉ガ motto トシテ説ヲ出ス一派起レリ。此ノ *New* ^ニ *Kant* ハ本當ノモノナラス。自然科学者ノ批難スル 自然科学

Kantianer = シテ 1870 年頃ナリ。

此、頃 E. Teller / (論文集中=アル) *Über Aufgabe und Bedeutung der Erkenntniss Theorie* / 講義 / 第一項=認識論=ソキテ / 演説アリ。認識論ハ我々ノ表象ヲ我々ノ精神ノ性質=ヨリテ構成ス我々ノ精神ノ性質ト我々ノ表象ノ構成トガ結合スル所ノ條件ヲ探究シ。人間精神ガ果シテ真理ノ認識=適スルヤ否ヤガ、又如何ナル條件ヲ定ムルナリ。ト云フコトヲ云ヒ認識論ハ此等ナリト述ベテ居ル。之レ=ヨレバ

Erkenntniss Theorie ナル言葉ガ餘リ行ハレ居ラザリシコトヲ知ル。然ルニ 1830 年頃=之ノ言葉ガ有リシガ如シ。(而シ不確ナリ)。

Vaihinger. *Über Der Ursprung des Wortes "Erkenntnis Theorie"* / (Philosophische Monatshefte XII. Ber (876) 中=アリ。Leipzig / 哲学法=於テ *Flagekasten* 中=会義 / 研究題目中=之ノ問題アリキ。Erkenntnistheorie ハ何時、誰レガ何處テ説ヘ初メタカテフコトナリ。異見

違々ナリ。1861.2 年頃カント Vaihinger ハ考ヘテ居タリ。然ルニ今少シ早キコトヲ知レリト。即チ溯リ行クト 1830 年頃=マテ行クヲ得ルト。即チ 1830 年ヲ以ツテ此ノ言葉ノ発出時代ナリト。Locke ヨリ此ノ説ヲ明白ニ唱ヘ初メタリ。而シテ Leibniz ガ此レヲ基トシテ説ケリ。即チ Locke = 依レバ此ノ問題ハ metaphisik トカ神ノ問題ヲ説ク前ニ説カルベキモノトモルナリ。Berkley ハ Locke / 後ニ人知神論=於テ此ノ問題ヲ説ケリ。然シ未ダ之独立ノ学トハナク居ラズ。其後ノ他乙学者等ガ書キ居ルガ Meiyer, *Vermuht Lehre* モ認識論=近キガ未ダ認識論デハナシ。此レヲ独立ノ学トシタルハ Kant ナリ。即チ *Vermuht Kritic* ナル名ヲ用ヒタリ。此ノ次ニ最モ明カニ用ヒシハ Reinhold ナリ。Verruchener *Theoric des Erkenntniss vermogens* ハ Kant / 説ヲ今少シ理解サレ易クシタモノナリ。而シテ或ル点ヲ詳ハシク説ケルナリ。此ノ書ノ第一ハ *Vorstellung Vermogen* =シテ。第二部=於テ *Erkenntniss Theorie* / 問題

ヲ解ケルナリ。然シ未ダ、コノ Erkenntniss J. ナル言葉ハ用ヒラレ居ラズ。1794. Fichte. Wissenschaft Lehre. アリ Bruter Fries. New K. d. V. 1807. Maimon. Abicht. Ph. J. Et. J. 1791. Schopenhauer ハ Dianoecologische Unter Suchung テ 7 名目ヲ用ヒタリ。Erkenntniss Lehre テ 7 言葉ハ少シ後レテ出テ居ル。1808 = Frug が E. d. L. oder. Metaphisik テ 7 題目ヲ掲 ヲタリ。然シ此等ハ Kant / 用ヒカニ異ルモ。兎ニ角 1808 年頃此ノ Erk. Lehre ナル語が出来 シナリ。

Reinhold / 1823 / 著 Grundzüge eines Systems d. Erk. Lehre od. D = L. が出テ居ルガ。此レ以後三十年バカリハ Erkenntniss 二科ヲ / 問題ハ出テ居ラズ 1858 年又少々出テ来テ居ル。(—1871) 又此以後、又一時途絶エ。此レ以後シバラクシテ。Er K. J. ナル言葉 が用ヒラレテ居ル。Reinhold / 書名ヨリ直チニ Er K. J. ナル言ガ出ル筈ナリシモ未ダ出テ居ラ

ズ。然ルニ 1832 年ニ之ノ E. Reinhold が Theorie des menschlichen Erkenntniss verprägens und Metaphysik = 於テ Erkenntniss J. E. Theoretisch トカノ言葉ヲ平氣ヲ使用シテ居ル。然シ Veikinger ノ調査ニヨレバ他ニ発見サレズト云フ。之レヨリ見レバ Reinhold が使用シ初メタト云フベシト。第一巻ノ大論ハ認識論ノ序論ヲ書キ居レリ。第一節。人間意識発達。第二節。人間意識批評。第二巻 Metaphysik. 此ノ第一節ハ Erkenntniss Theorie Tische des grundläge Des Metaphysik ナリ。然シ此ノ書ハ世人カラ全ク忘レラレ居ルコトヲ Veankinger が云ツテ居ル。而シテ今日ノ如ク。Er K. J. + Metaphysik が論議サレル様ニナリレハ Reinhold 影響ガアリト云ツテ居ル。而シ認識論其ニハ発達ニハ何等ノ效果ナキモ。歴史的ニ見テ大イニ注意スベキコトナリ。

1862. Zeller の Über Aufgabe und Bedeutung der Erkenntniss



Theorie ト云フ言葉ヲ用ヒタリ。(講演ニ於テ)
 而シテ *Erk = Th* ヲ離シテ書キ一字トシテ書キ
 居ラズ。即チ *Zeller* 自身ハ彼自身初メテ作りシ
 モ、如ク思ヒ居リシモノ、如ク。形容詞、*Erk.*
Theorie tische 等ノ言葉ハ使用シ居ラズト。
 又或ル所デハ (1844. *ギリシヤ哲学史*ニ於テ)
Theorie Des Erk. ト用ヒタリ。第二卷ニハ
 ナキモ、第三卷ニ至リ初メテ *Erk. T.* ナル語ヲ
 用ヒタリ。之等ヨリ推シテ上ノ事ガ云ヒ得ルナラン
 ト。1855. *Plantle* モ亦 *Erk = Th.* ト用ヒ
 テ居ル。然ラバ *Reinhold* ガラ来タモノカ。
Plantle ガラ来ルカ。 *Vaihinger* ハ *Plantle*
 自身ガ考ヒシモノナラント推シテ居ル。之レヨリ後々傳ハル
 ニ至ル。 *Drobische* ノ論理ノ第三卷ニ於テ此言ヲ
 使用シテ居ル。斯クシテ漸次用ヒラル、ニ至レリ。
 1860—70. ニシバシバ用ヒラルニ至リ。70年
 代ニ至リ初メテ普通ニ用ヒラル、極ニナレリ。(中
 ニハ此ノ *Erk.* ニ反対スル人モアリ。) 之等ヨリ。
Logic. Erk. T. Metaphysik トガ区別サ
 レテ説カル、ニ至ル。又 *Noetik* テフ言葉ヲ用

ソル人モ有リ。(知ト云フコトナリ、ヤハリ *Erk*
 アト同様ノ意味ナルナリ) 然シ此ノ語ハ用ヒラレ
 ズ。又 *Diarektik* テフ言葉モアルガ用ヒラレ
 ズ。又 *Kritik* ナル語モアレド不用。

Theory of Cognition ハ之 *Erk T.* ノ訳
 語ナリ。

認識論ハ論理学ト大体共通ナル問題ヲ取扱フ事ア
 ル故古来論理学ト同名ノ下ニ述ベラレタ事アリ。今
 日 *Erk. T.* ナル言ノ出来タ後ト雖モ、論理学ト結
 合サル、事アリ。此等ノ関係ヲ調べ見ルニ色々ノ形
 アリ。次ノ四ツノ場合アリ。

(1). 論理学ノ言葉中ニ認識論ヲ含メル事

a. *Logic, Erkennt.* b. *Erk. L.*

(2). *Erkenntnis The.*

a. *E+L.* b. *L+E*

(3). *L in E.*

(4). *L = E* *L(E)* ナリ。

(1). *L. T.* = 認識論ヲ含メル事ハ *Wundt*,

Lotze Sigwest, Mill 等ナリ。

Wundt, Logic = *Erk* ヲ説キ居ルナリ。

Loge, founal Logic → Methodology → Erk. Mill, 之レモ Logic が主トナリ, Erk. 問題ヲ併セテ説クテナリ。

反対 = Logic ト題シ, Erk. T. ヲ先ニ論ズルナリ。Uberweg Erk. 乃 Grund Large トナリ。Logic ヲ説ケリ。最近 Zecken / Logic = 多少此ノ傾向アリ。

(2) a. Volkelt, Schubert Soldern 等ハ本ハナシ, Erfahrung und Denken 中ニアリ。此ノ終リ方 = Erk. System が等ケテアル。Erk. t. ハ五部ニ分ル。基礎的部分ハ

(1) 認識原理ノ論 (2) 思惟結合形式ニ関スル学之ノ部分ヲ純粹論理学ト名付ケ得 (3) 純粹直観形式ノ論 (4) 範疇論 (5) Methoden Rede (方法論)。然シ彼ハ之ノ System ヲ作ツテ居ラズ Lナルベシト云フナリ。彼ノ考ヘニヨレバ認識論ト離レテ Logic ハ考ヘラレズト。斯ル考ヘヨリ Erk. t. 中ニ Logic ヲ含ムルナリ。

S. Soldern: Wundt ノ或ル所似テ而モ相合ハス Grundlagen enien Erk. t. 〆早

ク着ハセリ。初ノ認識ノ性質——概念論——論理学トナリ居ルナリ。

Hobhouse. "Theory of Knowledge" deta → defference → Knowledge = 分ル。

(3) Logic und Erk. t. Zeller 之等ハ普通ニ行ハレテ居ル。

(a) 便宜上二者ヲ區別スル方法。

(b) 原理的ニ區別セントスル方法。

Sidgwick, Erhardt, Kant 等。

Sidgwick → formal logic ハ Epistemology トハ全然區別スベシト。(尤モ関係ノ密接ナルハ勿論ナリ)

Erhardt. "Metaphysik" ナル題デ以テ Erk. ヲ説キ居ルナリ。Erk. ハ Theorie Der Erfahrung ナリトシテ居ル。之ニ反シ Logic ハ判断ノ問題ヲ取扱フナリト。

Schuppe ハ論理学ノ問題ハ根本ニ行ケバ Erk. t. ニナルト云。

(4) L. E. トヲ根本的ニ異リ居ラザルナリト説ク

ナリ。此レ今日ノ多クノ学者ノ帰着スルトコロノ論ナルガ如シ。之ノ場合大テイ *Logic* テフ言葉ノ中ニ両方ヲ含マスナリ。但シ此ノ場合、*Logic* ハ方代 *Logic* ナル意味デハナイ。

Cohen. 純粹認識ノ論理等。認識論ノ問題ヲ混説シテ、論倫美学ノ三ツノ *System* ニナル之ノ場合、論理学ハ即チ *Erk.* ト無區別ナルモノナリ。此レ故我々ハ第三ノ分類ヲ以ツテ一番不便少ナキモノナリト思ハル。然シ或ル時ハ之等ヲ一所ニスルコト必要ナリ。之ニハ新シキ名ヲ附スル要アリ。故ニ私ハ此レニ対シテ智識哲学 *Wissenschaft der philosophie* トス。此レガ基礎的ナ所ヲ説クガ *Erk. systematic* ナ所ヲ説クガ *L.* ナリ。現代哲学派ニ知ノ哲学ト。生ノ哲学トル分ル人アルガ。之レハ一学派ノ名前ナリ。而シ之ニ云フ意味ハ同ジモノナラズ。

第二章 知識ノ分析

第一節 知識起源ノ問題

知識ニ関シテ第一ニ問題タルベキ物ハ起源如何ナリ。蓋シ多クハ之ノ考察ニヨリテ其事物(知識)ノ性質ヲ判定シ得ルモノナリト考ヘ居ル位ナリ。多クノ人ハ既ニ認識論ノ重要問題トシテ起源ト本質トノ二問題ヲ挙ゲ居ルナリ。乍然ラ之ガ爲ニ往々認識發生ヲ論スル研究ト認識論其モノハ研究トヲ混同スル場合少ナカラザルナリ。此ノ点ニ関シテハ *Hegel* ノ如キモ *Kant* 哲学ヲ指シテ心理的研究ナリトシタ事ニヨリテ著シキ例トスルヲ得(其ハ *Hegel* ノ哲学史第 15 = *Kant* ノ哲学ヲ序述批評シ居ル中ニ説ケルナリ)

如是キ解釈起ルハ起源ノ問題ガ其處ニ結ビツクガ故ナリ。故ニ *Jerusalem* ハ認識ニ関スル問題ニ於テ *Erkenntleh* ト *E. Kritik* トニ分ツナリ。 *Ere lere* ハ起源ヲ研究スルナリト。 *Jerusalem* ハ區別ハセシガ起源ノ問題ハ全ク心理学的ナル物ナリトシテアツク。活シ新クノ如ク起源問題ヲ全ク心理学的ノ意味ヲ有スルノミト考フルナラバ認識論トハ無關係ナリトモ見ルヲ得。乍然ラ認識論ニ於テハ之ノ問題ニ触レル場合ニハ或ル特別ナル意味アルコトヲ

考へ得ルナリ。其ハ即チ分析ヲナスコトナリ。起源ニヨリ分析ノ問題ヲ論ズルナレバナリ。此ノ点ヲ無視セシクハ起源ノ問題ハ心理学的トナリ。

Hegel / 云フ如ク認識論ハ心理学ノ一部分ナリト考フルニ至リシナリ。

心理学ト認識論

一言ニセバ心理学ハ事実ノ学ニシテ認識論ハ

Tatsache / 有スル認識ノ論ナリ。此ノ点ニ関シテハ心理学トハ異ルガ *Metaphysik Transcendental* トヲ區別セシ Kant / 解釈ガーツノ基礎トナルナリ。即チ *Metaphysik* ハ凡テ *Object* ニ関スルナリ *Trans* ハ認識ニ用スルモノナリト *T. Philosophy* ハ大体認識論ト同様ノ意味ニ用ヒラレ居ルコト多イカ。其ノ場合ニハ *Object* ナラズシテ之ニ関スル *erkenntniss* ヲ目標トシテ居ルナリ。而シテ *Meta* ト云フ場合ニハ *Object* 其モノハ本質テノ事ニ関スルナリ。其レノ現ハレヲ所ノモノヲ考フル場合ニハ其ハ経験学的テノ意味ヲ有シ来リ。心理的テノ如キ言葉テ現ハス事ヲ得。其様ニシテ *Psy.* ト *Trans.* トハ同様ナリト云フハ之ノ

區別ヲ無視セルコトナリ。然ルニコノ心理学ト認識論トハ問題錯誤シテ居ル為シトシテ同一視セラレ最近ニ於テハ Nelson, "Über das sogenannte erkenntliche Problem" 中ニ論テナル。所云認識問題ハ要スルニ心理学ノ一部ニ属スルト論セリ。 (Nelson ハ新 Fries 派トシテ知フル) 其他心理学者ノ方ヨリ斯様ヲ解釈ヲ試シ居ル者ハ一々尋グルに及ビシ *Pragmatisismus* / 如キハ此レニ類シ居ル者多シ。前述ノ Jerusalem / 如キモ只然リ。之ノ立場ヲ通常心理主義ト云ノガ。一方知識哲学ヲ究ク人ハ凡テ此レニ反対セリ。此レヲ反心理主義或ハ論理主義ト云フ者モテ居ハル。其後ト云フ。此レヲ明ニスベキモノナリ。實際ニ於テハ不明ナリ。

先ノ論點トシテ考フル場合之レハ容易ニ區別スルヲ得。例ニシテ Holber 著 *Psychologisches* ハ録リニ於テハ心理学的 *dennon* 7 種ノ或ハ心理学ヲ不正ナル場所ニ用フト。即チ心理学問題トシテ考ヘカラザル所ニ心理学ノ問題ヲ持出ハ。又用フマカラザル所ニ心理学ノ問題ヲ用ヒタルナリ。

即チ逆ニ反-----ノ如何ヲ知ルヲ得、即論理的、知識哲學的内部ノ別在ヲ認ムルナリ。然ラバ如何ナルトコロニ於テ其區別カ行ハル、ヤ。

心理学ニ於テ知識ヲ研究スル場合ニハ如何ナル簡單ナ不完全ナル部分ヨリ發生發達スルカテフコトヲ考究シ行クナリ。其Processヲ明カナラシムルコトガ出來ルナルガ、乍然ラ其場合此等ノProcessノ中ニ價値ノ差別アリヤ否ヤ等ハ少シモ考ヘ居ラズ即チ感覺的結合モ、概念的結合モ、心理Processトシテ見タ場合同等ノ價値ヲ有スルモノナリ。其他感覺中ニモ所謂正当ナ感覺ト或ハ錯覺、幻覺テフ如キモノモ心理的事實トシテ考ヘシ場合ニハ同シ様ナ意味ヲ有ストサル、ナリ。即チ感覺、知覺等心理的現象ニツキテ、價値ノ別ヲ考ヘニ入レザルナリト云フヲ得。此處ニ認識論トノ差異アリ。認識論、論理学即チ知識哲學テフモノハ認識ノ正邪ノ區別ノ標準ヲ説クナリ。乍然ラ或ハ之レニ對シテ反駁シテ心理学ニ於テモ、現在正当ナ知覺ト錯覺トハ區別シ之レガ標準ヲモ定メ居ルデハナキヤ。ト考フルヲ得而シ一步進ミテ *Psy. st.* ガ或ル標準モテ知識

ノ正邪ヲ區別スルテフコトハ可能ナリトスルモ何故ニ標準トナルヤトノ根據ハ其處ニハ示サレ居ラズ。例ハハ多數者ガ承認スル如キ等ヲ標準トシテ居ルナリ。斯ク標準ヲ用フルガ何故ニ多數者ノ知覺スルコトハ正ナリヤ。此レガ云ヒ得ルヤテフ事ハ、之ヲ仮定シテ証明ヲナリザルノガ心理学デアリ。而シ場合ニヨリ上ノハ眞ナラザルコトアルガ故ニ之ハ尚論ゼラルベキナリ。此ハ然シ心理学テハ論ズル必要ナシ心理学テハ我標準ヲ仮定シ心的事實ヲ研究セバ足レリトナス。物理学ガ物質或ハ之レニ関スル方則ノ存在ヲ仮定シ論ヲ進ムルト同様ナリ。斯クノ如ク心理学ニ對シテ認識論ハ一特殊ノ問題ヲ有スルト見テ可ナリ。之ノ事ヲ略言スルタトニ種々ノ云ヒ方ガ現ハレテ居ル。例、論理学ト心理学ヲ對シ、前者ハ理論的形式的、 先天の方則ヲ論ズルモノナルガ後者ハ *Nature* ノ方則ヲ論ズルモノトセリ。即チ自然方則ノ立場ヨリセバ *Normal* モ *Abnormal* ノ同様ナ研究對象トナリ來ルナリ。然シ先天の方則或ハ *Norm* ノ方則ノ學問ニ於ケル區別ノ基礎ガ問題トナル。尚又進シテ更ニ根本的問題ガ遡ム。

知覚デアレ 錯覚デアレ何レモ対象ト主観(意識)
トノ合一テフ事ヲ豫想シテ居ル(之ノ成効シタル時
知覚)此ノ意識ト対象トガ離レテ考ヘラル、トコロ
ノモノガ如何ニ合スルカ、之ヲ解スルタメニ主客未
分ノ境テフテ意識等ノ或ル状態ヲ立ツルコトモ考
ヘラル。其ハ説明ノ順序トシテ後ニ考ヘラレシモノ
ナリ。予ヘラレタル材料ハムシロ内象ト意識トニ分
レタルモノナリ。此ノ二者ガ或ハモツト平タク云ヘ
バ、我ト物トガ対シテ居ル結局此レガ結合スルテフ
事ハ如何ナル構構ニ於テ可能ナルカ、之ハ心理学及
ヒ其他ノ学ノ豫メ仮定シ居ル事ナリ。之レヲ取リテ
論スルノガ認識論ト云フナリトハ、此處ニ心理学ト
異リシ問題ガ生ジ来ルト云フベシ。(心理学者ノ説
明ハ如何ニ詳細ナルモ何レモ之レヲ仮定シ居ルナリ)
然ルニ此ノ問題ハ斯様ニ特別ナル形モテ提出サル可
キモノナルガ、往々ニシテ物ト心トノ関係テフ如キ
形ヲ以ツテモ考究サレル事ガ出来ル。即チニ本体ノ
関係テフ事トナリ。其レハ *Descartes* ノ二元論
以来ノ問題トシテ現ハレシトコロノモノナリ。此ノ
Descartes ノ解釈ハ此ニシテ結局ハ物ヨリ説トス

ルモノナリシガ、以後色々解釈出デシガ結局 *Kant*
ノ批判哲学ニ於テハ主客観ノ立場ニ於テ説カレタリ。
即チ、心、物、テフ如ク対セラレシモノヨリ更ニ根
本的ナル物ヲ主観ノ中ニ求メタリ。而シテ対立物
ヲ客観トシテ対立セシムル。之ガ彼ノ解釈ノ仕方ニ
シテ此處ニ認識論ガ現ハレシナリ。

然ルニ *Descartes* 以来物心ノ関係ガ哲学ノ一
問題トセリ居テ其傳統ヲ受ケシ思想中ニハ今日ニ於
テ依然物心ノ問題ガ残り居ル。之 *Bergson* ノ哲
学ノ了着中ニ現ハル。

如是クシテ知識哲学ノ問題ハ明カニ心理学ノ問題
外ニ在リ。即チ事實問題ニ対シ意味、價値ノ問題ヲ
區別スルトコロニアルナリ。如是キ立場ヲ論理主義
ト称ス。若シ如是キ物ナリトセバ、苟クモ知識問題
ヲ論及スル者ニ心理主義タル能ハサルモノナリ。故
ニ心理主義、論理主義テフ如キ區別ハ實際ニ於テハ
極メテ動搖セルモノナリト云フベシ。

既述セン如ク、知識問題テフ事ヲ特別ニ論及スル
場合ニハ如何ニシテモ論理主義的トナルベキ事ナリ。
故ニ實際反対論者ヨリ心理主義ト唱バレ居ル人も共

人ノ言フトコロハ決シテ心理主義ナラザル如ク見ユ
 現ニ *Fries, Nelson* ノ如キ人ハ認識ノ問題ヲ
 知ラザルニ非ズ。之ヲ唯古来ノ心理学ト結合シテ
 説カントセシナリ。其他 *Jelus alem* ニアリテ
 モ同様ノ事ガ云ヘル。或ハ近代ノ *Pragmatism*
 等ノ如シ。之レト逆ニ論理主義ト自ラ考ヘ居ル者ノ
 中ニモ色々ナ相違アリ。(例ヘバ *Lipps* ノ如キ人
 ハ何レカト云ヘバ心理主義的研究ヲナセシ人ナルガ
 一面ニハ *Kant* ノ哲学ヲ説キ論理的問題ヲ意識シ
 テ居ルナリ。又 *Stumpf* 等ニ於テモ心理主義ト
 ハ言ハレ居レドモ、決シテ認識問題ヲ意識シテ居)

Wunderband ニ於テハ自然論理主義ナルガ
 (而シ自分自身此ノ言葉ハ使用シテ居ラズ) 然シ
 彼ノ説ガ他ノ人ニヨリテハ尚心理主義ノ跡ガ残り居
 ルト云ハレテ居ル。 *Rickert* ノ如キ亦然リ。
 如是シテ結局ニ者ハ *relative* ノ言葉ニシテ絶対
 的ノモノハ殆ンドナシ。然シ乍ラ大体ニ於テ此ノ言
 葉ヲ説ケル以上ハ區別ノ標準ヲ定メザル可ラス、
 之ハ既述セシ如シ。之ノ區別ガ混同スルテフコトハ
 根本ニ溯レバ起源テフ問題ノ意味ガ充分明カナラザ

ル事ニ帰ス。即チ起源問題ヲ論スル事ハ認識研究ノ
 第一ニ現ハル、事ナルガ。乍然ラ知識ノ心理学的研究
 デハ更々ナシ。結局知識ノ價值ヲ研究セントシテ
 其ノ要素ヲ分析シ之レニヨリテ價值ヲ定メントスル
 コトニ依ルナリ。故ニ目的ハ全ク論理的ナリ。心理
 学ノ発達ノ考究トハ意味異ルナリ。名ハ起源ヲ論セ
 シ如キモ實ハ分析ノ問題ナルナリト云フコトガ之等
 ノ誤解ヲ避ケルタメ最モ強調サレシナリ。而モ此ノ
 点ニ於テ誤解起リシコトハ一方知識研究ヲ促シタ事
 トナル。次ニ起源ノ歴史ヲ考察セン。

第二節 起源問題ノ歴史

起源ノ問題ハ如是ク元来知識ノ價值ヲ論ズル手段
 ナリト云フノハ、既述セシ如ク人ハ通常事物ノ價值
 ヲ起源ニヨリ決セントスル傾向アリ。カ、ル所ヨリ
 シバシバ知識中ノ要素ニ重点ヲオキ他ヲ輕ンズル
 原因トスル如キ事起ル。之ノ意味ニ於テ起源ノ問題
 ガ認識論ノ問題タルナリ。斯様ノ問題ノ起レルノハ
 結局知識ニ不正確ナルモノガアルガタメナリ。其處

デタクノ知識ハ何レモ感覺ヲ通シタ材料ヨリ成立シ居ルモ之レハ誤謬多シ。故ニ別種類ノ *Origin* ヲ有スル知識ノ起リヲ想定スルニ至ル。如是クシテ感覺的知識ニ対スル主知的知識即チ理性的知識ヲモノガ起ルナリ。理性的要素ハ正シキ知識ノ本ナリト云フナリ。之 *Rationalis* ナリ。此レニ対シ感覺ヲ基礎ニシテ起ル知識ハ日常經驗ニ関係アルモノナルガ。之ノ經驗ガ知識ノ本ナリテフ説ヲ名付テ經驗主義ト云フ。 (*Empiricismus*) 此ノニツノ立場ガ対立サレタル如キ形ヲナスガ。此レガ起原ニ対スル解釈ナル如キモ。今述ベシ如ク此レハ異リシ *Motive* ヲ導カレ居ル見方ナリ。即チ理性主義トハ知識ノ確實性ヲ説ククメニ考ヘ出サレ。經驗主義ハ知識ノ成立ヲ解ククメノモノナリ。故ニ両方ノ考ヘハ両立シ得ルナリ。之ノ事ハ *Grund*ニ於ケル哲学ノ一状態ナリ。例 *Empedocles*。 *Demokritos* デモ。下段以前ノ *Heraclitos* 等ノ如ク理性ヲ重シ居ル。而シ知識ノ成立ヲ説明スルトキニハ感覺ヲ持チ出シ居ルナリ。即チ論理上ノ理性論ト心理上ノ經驗論トガ錯レルナリ。故ニ理

性論ヲ唱フルコトハ心理学上ノ經驗論ニ反対スル事トハナラザルヲケナルガ。後世之レヲ混同シ兩者相反スルガ如クナリ。此レニヨリ起原ノ問題ノ意味ガ分析ノ問題ト全ク離レタルモノトナレリ。此ノ事ハ *Descartes* ガ理性論ヲ唱ヘシニ対シ *Locke* ノ經驗論ノ起リシ事情ニヨリテ見ルベシ。
Descartes ハ感覺ノ誤リニ富ム事ヲ認め。理性ノ知識ノ確カナル事ヲ説ケルナルガ同時ニ此ノ論理的知識ガ *inherent* ナルモノナリトセリ。此レ問題ノ混合ナリ。又別ニ或ル觀念ハ心ノ中ニ生来具ハリ居ルテ考ヘヨ主張シ居ル者アリ。此レニ対シ *Locke* ガ反対シ如何ナル觀念モ皆經驗ヨリ来ルト説ケリ。ツマリ理性論者ハ其レニ接近セシ論者ガ自分ノ問題ヲ誤リタルナリ。其ノ事ガ又誤解ノ問題ヲ惹起セシナリ。

第三節 經驗論對理性論

知識起原ノ問題ニ対シテ此レヲ經驗ヨリ説明セントスル見方ト。此レニ対シ經驗的知識ヨリ更ニ確實

ナルモノヲ述メ之レヲ理性ニ帰セントスル立場が対立スル事ハ既述セル所。此レガ種々ノ誤解ヨリ生シタ所ヲモ既述スル通りナリ。故ニ若シ此レヲ正当ニ解釈セバ或ハ兩者同ニ調和点ヲ求ムルコト必ズシモ不可能ニ考ヘラル即チ此レヲ試ミン。

此レガタメニハ経験テフ言葉ノ意味ヲ調べ、此レニ依リ新解釈ヲ求メル事ガ一方法ナル様ニ思ハル。故ニ、

経験ノ意味

erfahrung ハ色々ノ意味ニ用ヒラル。普通ノ使用法或ハ種々ノ書物ニ用ヒアル言葉ニツキ考レバ其時間トシテ正反ノ意味ヲ有スル事スラ有リ。

(1) 普通ニハ唯之レヲ事実テフ如キ意味ニ用フル事アリ。即 *empirischer* テフハ *factum* ノ知識ヲ持チ実行シテ居ル人テフ意味ナルナリ。

(2) 更ニ進ミテ、精密ニ解スル場合ニハ

Unsystematic fact テフ意味ニ用ヒラル。即チ組織的ナル学的知識ニ対スルモノトシテ用ヒラル (*Bacon, Organon* 中ニ *Experimentum* テフ言葉アリ (漢ノ如キモ)) 即チ蟻ガ何デモ我巢

ニ引入ル如ク暗中摸索ノ状態ナリ) 又 (*J. Mill* ノ自然方則中ニ因果方則ヲ発見スルニ至ラサル時ニハ *empirical laws* ヲ発見スルニ止マルトアリ。即チ *experience* ハ物学問的性質ヲ有セザルナリ。)

(3) 経験トハ外界ノ印象ノ意ヲ示スコトアリ。

(*Kant* ガ“純粹理性批判”ノ初メニ凡テ彼々ノ知ハ経験モヲ初マル、而シ之レノミヨリ来ラズテ云ハル。此ノ経験ハ外界ノ印象テフ意味ナリ) 此レハ多少 *Materialistic* ノ考ヘ方ト関連セリト云フヲ得。

(4) 経験ハ内外両活動ヨリ生シタ意識 *process* ナリト解セラルハコトモアル。此レモ尚 *Kant* ノ“批判”中ニ現ハルハ所。我々ノ経験ハ印象ト認識能力ノ附加トヨリ成ルト。即チ外界的、内界的活動ノ結合ヲ意味ス。此ノ場合ノ経験ハ經驗的智識、或ハ認識ト同様ニ用ヒラレシナリ。又 *Kant* ハ或ル時ニハ知覚判断ト經驗的判断トヲ區別シテ居ル。此ノ場合ノ経験テフモノハ前述ノ如キ意味ヲ有ス。又 *Diel* ハ或モノヲ知覚スルコトハ普通妥当的ノ

仕方ヲ認識スルコトヲ意味ス。又經驗ハ社会的ノコトニシテ、個人心理的概念ナラズト云ツテ居ル。此ノ意味ハ唯一個人ノミニ當テハマルモノナラズシテ多數人ニ共通ナリテフ意ナリ。

(5) 唯ニ現象ト同意ニ用フルナリ。

經驗科学テフ言葉ヲ我々が用フルトキニハ或ル現象ノ科学ナリテフ意味ヲ使用スルナリ。

(6) 經驗ハ直接ノ意識過程ナリテフ意味即チ體驗ト同様ナル意味ナリ。Forkeertノ經驗ハ *inner werden* ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル。之ノ意味ニ於テハ經驗ニ上ト正反スルモノデ主観的ニシテ一層内的ナルモノナリ。此處ヨリ純粹經驗、或ハ直接經驗テフモノガ導キ出サル。

(7) 認識論ノ意味。

Wundtノ心理学精義等ニ用ヒシ經驗ノ意ハ主客観ノ混然タル状態ノ意ニ用フ。故ニ主客兩観ノ結合セル認識テフ意味ナリ。又Kantノ用ヒシ場合ニ於テハ經驗ト認識ト區別殆ンドナキ場合アリ。

(8) 或論者ハ經驗スルト、生活スルコト、同様ノ意味ニ用フ。 (*experiencing is living*)

即チ體驗ト見ルノトヤ、近シ。然シ體驗ノ如キ内面的意味ヲ有セザル場合ナリ。而シテ *living* 中ニハ *rational + living* モ含マル。

(9) *pure experience* トスルモノ。

主客観ノ區別ナキ物、ト考ヘルコトアリ。即チ理性ヲ含マザルモノナリ。或ハ體驗テフ言葉ヲ表ハス事モ出来、或ハ直観、或ハ本質ヲ見ルテフ言葉ヲ現ハスコトモ出来ル。斯ク色々ナル如ク解釈出来ル如ク見ユ。從ツテ唯經驗論ト言ツテモ如何ナル意味ノ經驗ナルカニ依リ非常ニ重大ナリ。

以上ノ如ク考フル時大体此ノ中デ一致スル事ヲ得ルモノ、省略スル事ヲ得ルモノ等アリテ、大体ニツノ明区分アルコトヲ得。

(1) 知識ノ材料トシテノ經驗。

(2) 知識ノ原形或ハ *element*、(或ハ萌芽)トシテノ經驗。

之レナリ。例ハバ經驗ヲ外界印象ト見ル場合ハ、第一、經驗ヲ直チニ認識ト見ル場合ハ第二ノ場合ナリ。

此ノニツノ見方ハ或ル意味ニ於テ正反スルモノニシ

テ從ツテ經驗ト言ツテモ何レヲトルカニヨリ全ク意味ヲ異ニスト思ハル。古來多ク經驗論ト呼バルハ第一種ナリ。第一種ノ經驗ハ *Auflere erfahrung* テフ言葉テ現ハシ得。故ニ從來ノ其レハ外的ノ經驗論ナリ。然ラバ外的經驗ニ如何ナル種類アリヤ。此ノ外的經驗論ハ經驗ヲ認識ノ根本ト見ル見方中最モ普通ニ考ヘラルハモノナルガ、乍然ラ之レヲ追窮スレバ種々ノ疑問ヲ含ミ、結局第二種即チ外的ノ外ニ内的ノ物ヲ認メル方ニ移ルベキコトハ認メラル。此レヲ今歴史上ノ事實ニツキ考ヘ見ン。

外的經驗論

Wundt ハ之レヲ三種ニ分ツ。

- (1) *Naiver Emp.* — 古代 — 中世 = *aufserer E.*
 - (2) *Reflektierter E.* Locke アタリノモノ。
 - (3) *Reiner E.* 之ナリ — 近世ノモノ = *innerer E.*
- (1) コレガ古代、中世、近世ノ思想ヲ代表スルテフ風ニ説ケドモ、然シ爭異ハ多少之レト異ルトコロ有リ。此レハ今迄ノ經驗論中ニ現ハシ居ルガ、近代ノ學說ニ於テハ *Comte* / *Positivismus* ガ外

的經驗論ニ最モ近キ物ナリ。即チ *Comte* / *Positivismus* ハ事實的証明ヲ經テ居ル物トス、事實トハ常識的ニ分レ居ルモノトシテ居ル。即チ事實ニツキテハ漠トシテ居ル。然モ此ノ *Comte* / 實証主義ハ既述セシ如ク曖昧ナリ。即チ其事實經驗トカテフ物ノ内ニ多少理論的要素ヲ含ム。此ノ理論的要素ハ推理作用ニヨリ知ラルハモノニシテ、此ノ点此レハ外界的ナラズシテ内的ナルモノナリ。故ニ *C.* / 哲学ハ此レニ止マリ得ズ、一面結論ハ不價値論ヲ出シテ居ル。或ハ然ラザレバ飽クマデ實証主義ヲ徹底シ主觀的要素ヲ排除フ立場ヲ出サザルベカラズ。即チ更ニ確然ト外的經驗ヲ証スルモノ現ハレザル可ラス。此ノ立場ヨリ見レバ、經驗ヲ批評分析シ *Pure* ナ客觀的經驗ヲ求メルテフ立場ニ進ミ行クマキナリ。此レガ例ハ *Avenarius* / *Empirio-kritizismus* ニ現ハレ居ルナリ。彼ハ *Comte* / 說ヲ承ケタト云フノデハナシ。
Comte ハ漠然實証明テフ事ヲ云ツテ居ルガ、彼ハ自己ノ要素ヲ除キ純然タル客觀的要素ノミニシテ行カントスルナリ。即チ内的ナル物ヲ除キ外的ナル

モノ、ミヲ取り出發セントスル者ナリ。

一方ニハ又之レト異リ經驗ノ意味ヲカヘ、經驗ハ外的經驗ニシテ、此ノ内ニ既ニ内的關係が含マレ居ルモノナリト見ルナリ。此レヨリスレバ從來内的要素ヲ説ククメニ此以外ノ物ヲ除キ居タリシガ、然ラズシテ内的中ニ外的要素ヲ含マルトスルモノニシテ更ニ広キモノナリ。即チ James ノ考ヘニヨレバ凡テノ事ヲ經驗ニヨリ説明シ得、從來經驗ハ fact ニ因スル物ト見ル然ルニ此ノ fact ハ其自身分離的ニシテ連結ナシ。此レヲ連結スル働キ他ニナカル可カラズ。此レが即チ内的居クハ主觀的理性的働キナリト説キ来リシガ *grund* 此レハ同違ナリ。結合ノ働キ既ニ經驗中ニ在ルベキナリ。例ヘバ我々ハ普通ノ立場ヨリ言ヘバ、カバン、机等ヲ汝々ハ經驗シテ居ル而シテカバンガ机ノ上ニノツテ居ル。此ノ上下ト云フモノハ經驗ヨリ出ボシテ、我々ノ見方 即チ主觀的理性ノ働キテリトシテ居ルガ。James ハ此レニ反シ机上ノカバンヲ一連結シタモノヲ我々ハ經驗シテ居ルナリト。故ニ上下テフコトハ皆經驗中ニ其低アラハレテ来ルナリト見ルナリ。結合ノ用關係ヲ

經驗外ニオク説ニ反對シテ居ル。斯ク説ケバ凡テノ事ハコトゴトク外的經驗トシテ解クヲ得。

此ノ James ノ考ヘハ經驗論ヲ徹底セシ如キモ實ハ暗ニ内的經驗論ヲ取入レ、若クハ其レニ移リ居ルモノナルコトヲ示セルモノナリト考フベシ

J. ノ云ノ如ク事物ト事物トノ關係モ等シク經驗中ニ含マレ居ルト見テ可ナルモ、然シ之レが同種ノ物トシテ考ヘラレ居ルトハ必ズシモ考ヘラレズ。

James ハ全体トシテ Mc. カラ區別ガナキ如キモ此レヲ分析シテ見レバ區別アルナリ。此ノ場合物ト關係ツケラレテ居ル *passive* ナ物トツケル *Active* ナ物トハ外内的關係ヲ有スルテフ事ヲ拒ムヲ得ズ。Avenarius ノ如ク一切内的影響ヲ取除キシ *reine Erfahrung* ヲ求ムル事ハ不可能事ナラズト云ヘドモ認識ノ論ニ於テハ徒勞ニ屬ス。カクテ内的經驗ヲ重ンズル立場ニ進マサル可ラズ。即チ外的經驗ノ意味ヲ追求スレバ結局所云感覺テフ事ニ帰着スル故之レニ對シドクシテモ内的要素ヲ考ヘザル可ラザルガ實ハ所云感覺ナルモノガ事實ニ於テハ所云内的要素ヲ其ノ中ニ含有シ居ルモ

ノナラズ、然ラサル感覺ハ一抽象的ナルモノナリ。
實際ニ於テ感覺論ハ感覺統一者ヲ仮定シテ居ルナリ。
ト云フコトヲ *Hegel's Phenomenology* 中
ニモ常ニ云ヒ居ルナリ。

斯クシテ外的經驗論或ハ感覺論ハドウシテモ内的
經驗論ニ進マザル可ラサルナルガ、然ラバ内的經驗
ハ果シテ外的經驗ト分離シテ存スルヤ、若シ分離セ
バ内的經驗論が出来ルガ、カク見ル事ハ經驗ノ眞ノ
解釈ヲシタモノト云フヲ得ズ、内的經驗トハ實ハ外
的經驗ト融合シテ居ルト考フマシ、故ニ此處ニ言フ
内的經驗論ハ單ニ經驗論ト云フテ可ナルナリ。

經驗論ノ性質

經驗ヲ全体トシテ見ルトキ、之ノ中ニ内外的經驗
ノ結合ヲ常ニ見ル。此ノ事ハ一般本根經驗論者ノ言
フ通りナリ。而シ唯此レガ結合シ居ルテフノミナラ
ズ一步進シテ考フレバ兩者ハ同一物ナリト云ヒツベ
シ、此レヲ區別スルト經驗ヲ分析シテ初メテ成立ス
ルコトナリ。直接ノ經驗ト云フ中ニハ兩者區別サレ
ズニ結合シ居ルモノナリ。此ノ事ハ *Wundt* ガ所
云直接經驗テフモノハ中ニモ既ニ説カレテ居ルナリ。

例ヘバ花ヲ見ルテフコトハ一ツノ經驗ナリ。其レヲ
其體ニ解シタノガ直接經驗論ナルガ、此レヲ分チテ
考フレバ見ルトコロノ我ト、見ラル、花ナルニ要素
ガ其中ニ於テ區別ナル。此ノ兩者ヲ分チテ其各々ヲ
單獨ナルモノト見ルトコロニ *Nature Wissen-*
schaften ガ生ズト、両方ヲ區別セザル直接經
驗ヲ論スルルガ心理学ト云フテ居ルガ、彼ハ見ル我
ノ働キヲ客觀化シテ一ツノ物トシテ見ル如ク思ハル
(故ニ他ノ人々ガ客觀化セズシテ此レヲ主觀化シタ
キ科学ヲ立ツベシトナシテ居ル) 此ノ混然タル經
驗ヲ分析抽象シタ場合同接經驗ヲ生ズルガ、此所云
外的經驗ニシテ分析セザル物ハ抽象經驗ニシテ内外
的ヲ結合シタモノナリ。即チ色々ノ材料ガ混然ト結
合サレ *garize* ラナシ居ルノガ直接内的經驗ナリ。
此ノ内的經驗ニ於テ重ナル働キヲ爲シ居ルハ統一作
用ヲナス働キナリ。所云主觀的要素ナリ。此レヲ又
或ハ認識(經驗)ノ形式ト云ヒ、或ハ經驗ノ *Grund*
ト云フ事モ出来ルナラン。

Grund ナル 此ノモノハ經驗的材料ヨリ先
行スルモノナリ。此ノ意味ニ於テ先驗的ト云フコト

ヲ得。此ノ場合此レヲ *Apriori* ト云フ。故ニ
 經驗中ニ基礎的ナルモノ。先天的ナル要素ガ認めラ
 ル。此レガ即チ内的ナル經驗ナリ。此レニ對スル外
 的經驗ハ後天的基礎ヅケラレ居ルモノト考ヘラル。
 斯ク解スレバ其ノ經驗論ハ單ニ外界ノ印象ニヨリテ
 認識ガ出來ルト云フモノデナク外界印象ヲ統一スル
 モノアリ。此レニヨリ認識ガ生ズルト云ヘル。此ノ
 統一者ノ働キヲ名付ケテ理性ト云フヲ得。故ニ如是
 キ經驗論ハ其中既ニ理性テフ要素ヲ含ムモノト思ヘ
 ル。此ノ意味ニ於テ經驗ト理性トガヤ、一致シ居ル
 ト云フヲ得。而シ從來ノ理性論中ニハ之ノ中ニ入ラ
 ザル物アリ。即チ此レ迄ノ理性論者中ニハ理性的働
 キヲ全ク經驗ト區別シ居ル者多シ。經驗論者ガ外的
 經驗論者ナル如ク、理性論ヲ説ク者モ多クハ外的理
 性論者ナリ。故ニ *James* 等ノ反對ガ生ジ來ルナ
 リ。我々が理性ヲ經驗ト結合シ行クベキナリ。從來
 ノ理性ニ當ルモノハ經驗ノ *grund* トスベキモノニ
 シテ經驗中ニ求メ得ルナリ。此ノ經驗ノ *grund*
 ガ次第ニ新經驗ヲ取入レ經驗ガ豊富トナル故ニ理性
 ハ經驗ノ *grund* ニシテ同時ニ全体ノ統一ナル經驗

ヲ代表スル働キヲ、有スルモノナリ。故ニ内的
 經驗ハ *whole* トシテノ經驗ナリ。即チ理性ハ統
 一的 *grund* ニシテ全体的意味ヲ有スルナリ。
 故ニ此レハ批評的經驗論ト云フヲ得。(經驗ヲ批評
 シテ行クト云ノ意味ナリ) 或ハ時 經驗ノ形式的本
 面ニ理性ヲ求メ居ル故。形式的理性論ト云フヲ得ル
 ト思ハレ。從來考ヘラレ居ル經驗論理性論ノ解決ハ
 混同誤解ヨリ來ルモノニシテ此レヲ除ケバ如是ク統
 一シ得ルト思ハス。

第三章 知識ノ本質 (*Wesen*)

第一節 本質ノ問題

知識ヲ分析セバ理性ト經驗トノ二要素トスルヲ得
 ト云ハル、ガ、此ノ理性ナルモノハ要スルニ經驗ヲ
 全体トシテ見タモノナリ。ト解スルコトガ出來ルコ
 トハ前章ニ説クトコロナリ。然ルニ此處ニ云フ經驗
 テフモノハ要スルニ意識内ノ現象ナリ。カク解スレ
 バ認識ハ全然意識内ノ事ニ帰スルテフ風ニ考ヘラル
 、ガ、乍然ラ通常此ノ知識或ハ認識ハ一方意識外ノ

實在ヲ現ハスモノナリト考ヘラレテ居ル。即チ此ノ働ハ本来主観的作用ナルモ、同時ニ客観的意義ヲ有スルト考ヘラレテ居ル。此レハ事實ナルモ理由ハ何處ニアルカテアコトが問題ナリ。即チ知識ノ本質が如何ニ客観的ノ意ヲ有スルコトハ如何ニシテ論証サルハナルカ。換言セバ客観的知識ノ可能ノ問題トナルナリ。或ハ此ニ可ノ言葉ニ対シ(分析ニ)綜合テ言葉ヲ用フル事モ出来ルナラン。即チ知識ハ主客観ノ綜合ナリテフ意味ヲ何等カノ方法ヲ論証セントスル問題ト見ル事ヲ得。此ノ事ハ知識問題ノ中心ナリ。此ノ問題が單ニ知識ノ心理的説明ト論理的説明トノ區別ヲ生ズル所以ナリ。本ヨリ個々ノ物ニ関スル知識が当ルヤ否ヤテフ事ハ其個々ノ時々ニヨリ決定スベキモノニシテ之ハ哲学ノ問題デハナシ。乍然此レヲ一全体ニ反シテ考ヘテ一統主客ノ一致テフ事ハ如何ナル意ヲ有スルカバ問題トナル。即チ知識ノ客観的妥当性が問題トナル。

知識ト物。或ハ主客観ノ關係ニツキテ次ノ種々ナ場合ヲ考ヘルコトが出来ル。

(1) 凡テ知識ハ事物ヲ模寫スルカ否カ。

(2) 若シ然ラズトセバ次ノ如キ種々ノ問題が起ル

- a. 如何ナル変化が起ルカ。
- b. 此ノ変化ハ何ニヨリ起ルカ。
- c. 変化ハ還元スル事ハ出来ザルモノカ。
- d. 如是ク変化スル物が果シテ確實ナルカ。

(3) 知ト独立ナル物ハ無デハナキカ。

斯ク三場合ヲ考フル事が出来、対立スル答ヘニヨリ知識ノ可能ノ答ヘガ分ル。古来ニツノ重ナル見方が生レテ居ル。即チ第一ヲ肯定スル(カクスレバ第二ノ問ハナフナル)第三ヲ否定スル所ノモノが實在論ナリ。第一ヲ否定シ第三ヲ肯定スル此ノニニ対シテ種々ノ答ヲナスモノガ Idealismus ナリ。從ツテ觀念論ニハ種々有ル事トナル。或ル物ハ實在論ニ近ク又遠キナリ。

Wundt, Einleitung = ナレバ
 Metaphysische richtungen トシテ
 (1) Materialismus (2) Idealismus

(3)

Idealismus ハ materialismus = 対スル Spiritualism トナルト同時ニ所云コノ觀念論ノ意モ

含マル。此ノ場合 *real* ^{*materia lismus*} *Spiritualism* デモ
 ナキ一種ノ實在ヲ説クコトナルト。此處ニ注意ス
 ベキ等ハ第三ヲ肯定スルト言ヒシガ。此レハ普通ニ
 言フ知識界ノ事物が存在セズト云フ意味デハナシ。
 即チ我々世界ノ事物が夢幻ノ如キデハナイト云フモ
 ノデハナシ。学知ト全然独立ナルモノハ考ベラレズ
 ト云フナリ。古來ノ事物ヲ全然否定スルテ論ガ或
 ハ有リシト云フ事ガ出来ルカモ知レヌ。此レハ無宇
 宙論或ハ *Nichriasmus* 等ノ言葉デ呼バル。而シ
 此等モ實ハ世界ガ全然無ニ歸スルトマデ論ジブルノ
 デハナシ。故ニ知識世界ニ於テ觀念ト實在トガ対立
 シ居ルテフコトバ事實トシテ許サレナケンバナラス
 テフコトハナク然ルニ此レガ必ズシモ斯ク解釋サレテ居ラス
 言葉ノ用法等ノ誤解ヲ生ジテ居ルナリ。先ヅ各々ノ
 知識ガ各々ノ事物ヲ模寫シキルト見ルハ最も常識的
 見解ナリ。此レヲ名付ケテ *Naiver realism*
mus。素朴的實在論ト言フナリ。即チ此レハ現ニ
 知覚スル通りノ事物が存在シ。其ノ場合ノ因果關係
 ガ存在スル。而シテ此レハ我々ノ知覚トハ全ク無關
 係ニ存在變化スルモノナリト。而シテ一定方法ニ

ヨリ得タ知覚ハ全クヨフ其モノ、真相ヲ示シ得ルモ
 ノナリト考ヘ居ルナリ。 *Abbild theorie* 即チ
 知覚ガ物ヲ 寫スナリ。即チ模寫説ナリ。所テ此ノ
 素朴實在論ハ信仰 *Hartman* ノ云フ所デハ
 直チニ破ラレルモノナリト。『即チ物理、化学ニヨリ
 知覚上ノ變化ト物体其自身ノ變化トハ必ズシモ一致
 セザルモノナリト云フ事ガ分ルト。又生理、心理学
 等ノ知識ヨリ知覚必ズシモ真ヲ寫サズテフ事ヲ知レ
 ナリ。』且又最も困難ナルコトハ知識ニヨリ物ヲ模寫
 スルテフ事ノ説明ナリ。模寫テフコトハ同一性質物
 中ニ於テノミ考ヘラル、事ナリ。所ガ物ト意識ノ性
 質ハ異ル所模寫ハオカシキナリト。カ、ル根本ノ認
 識問題ガ起ル。故ニ素朴的實在論ハ維不可能トナル
 結局懷疑ニ陥ルナリ。其結果スベテ知覚サレルモノ
 ハ皆自己ノ意識内容デアル。其以外ニ世界が存在ス
 ルカ否カハ全ク分ラズ。知ト唯意識ニ現ハレル所ノ
 モ、ニ限ラレテ居ル。即チ意識内ニ現象トナリ來ル
 物ニ限ラル。物自体テフ如キ物ハ存在不明ニシテ意
 識ニハ上ラズト。カクテ實在論ノ困難ガ生ズ。』此レ
 7 *Phenomenalism* 或ハ觀念論 *Ideal-*

ismus ト名付ケルモノニシテ、此ノ徹底シタルモノハ苟モ意識上ニ上リ得ルモノニ非ガレバ存在セズ、即チ超絶的ノモノハ知識外ノ物ナリト。此ノ尙遂ニ世界ハ夢幻トナリ存スル物ハ我ノミ、即チ夢幻的觀念論、唯物論テヲ事トナル。此レガ素朴實在論ヨリ反對シテ第一ニ出ル處ノモノナリ。然ルニ歴史上斯様ノ極知説ハ起リ居ラズ Hegel ハコレニ對シ今少シ妥協的説ガ現ハレ居ルト *inconsequente Ideal*。即チ Kant ノ如ク *ding an sich* ハ誤ルルモ實際ハ分ラズト考ヘルナリ。斯クテ Hegel ハ *Idealismus* ヲ經テ *Realismus* ヲ考ヘ *Transzendente Realismus* ヲ考ヘテ居ル。(此レガ果シテ *Realismus* トイフ名ニナリ得ルカ否カハ問題ナリ)。

兎ニ角 Hegel ハ如是ヲシテ實在論ヲ又再ビ復活セントシテ居ルガ、然シ觀念論テヲ名テ以ツテ色々ナ事ヲ言ヒ得ルモノニシテ、此ノ方ガ又論理的ニ正シト考ヘラレルナリ。

再スルニ極知ノ觀念論幼稚ノ實在論ハ矛盾ニ等シ

イ事ハ誰デモ考ヘテイル、唯其ノ中デ實在論或ハ觀念論ニナルカヲ事カ説ノ分レル所ナリ。實在論ヲトル人ハ觀念論ヲ唯我論的ノモノニ帰スベキモノナリト哭メテ居リ、結局ドウシテモ實在ヲ否定スルト考ヘテ居ル。

近頃ノホノ *New Realismus* 等ハ最モ著名ナルモノナリ、又 *Nichola Hartmann* 等モ近頃實在論ヲ唱ヘルナリ、新實在論ヲ見テ觀念論ノ理解カ不^誤底ナルヲシ、兎ニ角實在論ハ觀念論ガ *Consequent* ニナルドドウシテモ唯我論ニナルト備見シテ居ル、而シ歴史上論者ノ言フ如ク物ハナシ、新實在論者ハ *Barkley* ヲ例ニ引ク、彼ハ極端ノ觀念論者ナリ、然ルニ *Idealismus* ヲリ一表シ *Idea* ヲ有スル *Spirit* ノ存在ヲ必要トスルトコロニ *Spiritualism* ノ立場トナリ来リ居ルナリ、故ニ此等ニ同類ノ混同ヲ生シテ居ル。智識問題ノ觀念論ト *metaphysische* ノ其レトヲ混同シテ居ル、乍然ラ是レニヨリ存在スルモノガ自我ノミナラズトシテ唯我論ニハ階リ居ラサルナリ、其他カ此レ 英スル如キモノモ考ヘラル、然ラバ

Barkley / 如ク立脚地ヲ動カサガル時ハ solipsism = ナルト云フ疑問カ起ル、然シテ此ハ向題ノ親同ナリ、何トナレハ知識問題ハ實在其モノ、問題ナラス、其レ=何物カ存在シ居ルカヲ争ハ知識問題中ニ入ラス、従ツテ Barkley カ初メノ觀念論ノ立場=止マリ居ルニ論者ノ云フ實在論=ハナラサルナリ、畢竟、觀念論=対スル誤解起ル所以ハ単=認識セラル、世界カ次シテ世界共ノモノ、真相ヲナイテ争フ意味シテ居ルナリ、論者ノ云フ唯我論ハ或ハ Barkley 唯心論ハ一種ノ素朴實在論ナリ得ルナリ、ツマリ認識ハ外界=存在スル spiritノ働キヨリ生ジタモノトナル故ナリ、此レハ唯物論ト結合スル如ク考ヘラレルヲ知レヌ、而シテ實際ニ於テハ形而上的唯心論ト結合シ得ルナリ、此ノ其Barkleyノ觀念論カ唯心論ニナリシハ問題ノ親同=アラスシテ立場カ變動セルヲ争フナル、自家撞着トナル故= Barkleyノ説ノ如キモノヲ例シテ観—唯心—唯我論トナルヲ争ハズナリ、

要スル=觀念論ハ認識範囲内ニ於テハ単=主観ノ働キカ重要ノ意味ヲ占ムル事ヲ説クナリ、若シカ

ル意味ノ主観ノ働キヲ我トイフツチ=解スレバ唯我論ト云フ言葉ヲ以ツテ此レヲ現ハシ得、同時=此ハ外界ノ現象ヲ虚妄アリテ知ク説ク説トハ異リ未レナリ、如是ク見ルトキ=ハ Idealismus ヲ言葉ヲ以テ充分=要求スルトコロノ物ヲ合マシムル事カ出来ル、ノミナラス既=觀念論的立場ヲ経テ以上此レヲ實在論ノ立場=モドステ争ハ旨ノ無ク省ナル思想ノ供託再現トナリ、苟モ認識ノ基礎ヲ説ク立場ヨリ云ヘハ認識=最マ直接ナル主観的觀念ノ作用ノ出發点ヲ解クコトカ最マ重要ナル事ナリ、實在ヲ説クハ同様ナル論法トナル、或々ハ結局實在ヲ概念ニ用クハスルカ、然シ出發点テハナシカ、ル意味ニ於テ我々ハ觀念論カ知識可能ノ問題ヲ取ルベキ立場ナリ、(一方經驗論ハ理論ヨリ取ルベキモノナリト信ス)如是ク觀念論ヲ取ルトキ、思想容量上此ノ争ハドツシテモ許サルベキコトナリ、此ノ觀念論=ハ實在論的要素ヲ包含スベキナル、合マカリシモノナリ、一ハ觀念論ヲ唯心論=直チニ結合マリ、又然ラズハ觀念論ノ要素ヲヨク分析セカリシ結果ナリ、為メ=觀念論カ争實上維持得サル=至

リ、感覺論ト結合スルヲ考ヘ方ナリ末リ、或ハ
 観念論ヨリ出ル唯我論ヲ論理的ニ追求スレバ、一切
 ノ事物ヲ否定スルヲ如キ不合理ノ結果ニ陥ルナリ。
 換言スレハ観念論ノ成立ノタメニハ観念、認識、主
 観的作用中ニ於テ基礎タルモノカナルウラ突ク
 サル可カラズ。即チ感覺ハ唯認識ニキ一部ノ抽象
 ニ過キス、故ニ此ノ感覺作用等ノ基礎タル事物ヲ求
 ムベキナリ。即チ主観的作用ノ基礎タル可キモノナ
 リ、此ハ唯例ニ基礎ノ上ニ立ツモノヲ内容トスレバ
 基礎ハ形式ナリ、此ノ form 如何並ビニ form
 ノ傷キ方ノ方法等ヲ明カニスベキナリ、此レヲ各付
 ケテ意識ノ中ノ先天的要素ト云フナリ、前述ノ一組
 職 System ノ如キ此レナリ、即チ經驗ノ System
 ナリ、此レ即チ範疇ナリ、第一 Category ヲ定ムル
 コトニヨリ観念論ノ基礎カ立ツナリ、第二ニハ主観
 的ヲ意味ク一個人(我々ノ感覺作用ニ現ハレル)
 ノ傷キト通常解サル、ノヲハ此カスニハ観念論ヲ説
 フ者ハ感覺的ノ個体即チ我獨立ノ存在物ニシテ他ノ
 感覺ハ夢幻ノ如シト解スベシトヤサル可ラスト云フ
 者カ出ラ末ルナリ、此レハ不可ナルコト明カナリ。

カ、ル欠缺ニ陥ラサレタメニハ主観的ト個人的ヲ
 眞ノ意味ヲ考究スベキナリ、此レニ依リ観念論カ実
 在論者ノ如キ攻撃ニ答ヘラレサルモノナラザル事カ
 明カナリ、故ニ次ノ問題ハ観念論ノ要點トシテ範疇
 ヲ見ルベシ。


(終)

昭和二年五月廿五日 印刷
昭和二年六月一日 發行 (非賣品)

編輯兼 東京市本郷区本郷五ノ八
發行者 組 興 作

印刷所 全所
國 文 社

14
767

14-767

1200501150849

終